臺灣日日新報 夕刊
十一月十四日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 …
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
基隆支局 臺中支局 臺南支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局

銘酒 楓白鹿

敵艦四隻拿捕
黄浦江を遡江して

【軍艦○○にて十三日發同盟特派員】我が江上艦隊麾下の○○艦を始め輕快無比の艦艇○○隻は十二日午後五時二十七分黄浦江の閉塞堰啓開成功と共に同夜徹宵雨中に敵機雷の敷設狀況を調査し十三日も引續き掃江作業を繼續し、午前十一時には閉塞堰場の上にて敵機雷を發見これが引揚げを爲してゐるが一方松江、金山方面の我が陸軍に彈藥糧食を急遽補給する爲め軍艦○隻は十三日正午相前後して錨地を出航、補給船○隻を嚮導し支那が閉塞以來三月振りで黄浦江を遡江狹隘な水路を突破通過した、帝國軍艦の黄浦江上流遡江は海軍創設以來實に今回が最初にして其の意義は重大である、先發した僚艦○○及び○○は同日午後五時三十分頃閔行鎭上流に於いて敵砲艦二隻を拿捕し、本艦は其の下流附近で金山方面から下江の陸軍御用船南興號と行き會ひ任務を終了した

【上海十四日發同盟】艦隊報道部午前十時三十分發表—帝國海軍は黄浦江水路の啓開及び航行危險物の清掃に努めつつありしが十三日未明帝國軍艦保津、比良は黄浦口を遡江、閔行に到着、松江方面の陸軍と完全に連絡せり、その際支那砲艦四隻を捕獲せり

平湖に向つて進撃

【松江にて十四日發同盟特派員】我杭州戰線○○部隊の一部は海岸線に添ひ西方に進擊、十三日來海塩の敵陣地攻擊を開始した、尚他の一部は金山衛城北方地區より平湖に向つて進擊中で隨所に戰鬪が行はれてゐる

決死・敵前渡河敢行

【松江十三日發本社特電】杭州灣上陸部隊の奇襲にもろくも敗走した敵の大部隊が先づ第一に防禦陣地を張つたのは松江南方米市渡を中心とする黄浦江岸であつた、我が快速○○山部隊は世界に誇る敵前上陸の勢を驅つて八日午後六時黄浦江南岸中耶村に進出し野口部隊敢山而長、野上軍曹兵の率ゆる決死隊を以て小舟○○艘による大膽なる敵前渡河を敢行した、敵は正面の一角を中心に東西兩部隊は機銃火網へ敵の抵抗を以て必死の抵抗を試みた爲め第一に突喊した岸本部隊の佐藤少佐以下壯烈な人柱となつて斃れ結城中尉以下の戰死者を出したが勇敢なる將兵一同は毫もひるまず敵兵一千を殪し九日午前四時見事黄浦江渡河に成功したのだつたかくて第一線を破られた敵は雪崩をうつて敗走し○翼長谷川部隊長の進出を容易ならしめ我勝利を確保するの勳功を樹てたのである

乘艦を許された一本島人の感激
艦中手記を本社に寄す

今回の事變に際し軍夫を志願し許されて目下戰線にある本島人の勇敢なる活躍振りはこれまで幾度か報道されたが、これ等は總て陸軍部隊に屬するものばかりであつた、以下紹介しようとするのは海軍に關するもので、通譯として乘艦を許された一インテリ本島人吳溥盛森氏—調査の結果、台北市東園公學校訓導と判明—が目下○○沿岸に日夜警備の任に當つてゐる驅逐艦○○上で認めこの程本社に寄せて來た『艦艇より故郷の皆さんへ』と題する手記である、この手記には一本島人として乘艦を許された光榮、日本人としての感激、日本人としての誇、正義日本の姿を眼のあたりに見、また感激して悪虐支那の逆宣傳に憤慨せずにゐられない樣、地上では到底想像も出來ぬ樣な皇軍將士の辛苦が切々と滲み出てゐる

正義日本の眞姿を見て

一、小生去る十月十四日乘艦を許され光榮ある帝國軍艦にて第一線に活躍してゐる本島人です本島人にしてこれ程の名譽がありませうか、之に過ぐる光榮がありませうか、私自身を始め一家一族の名譽でもあり實に我ながら幸運兒だと感ずる次第です、私は選ばれた戰士として軍艦に乘りつきました、私の喜びをお察し下さい、母も喜こんでくれました、兄弟も同胞の方にも敵へ子迄も盛んに手を擧げて盛んな歡を張つて下さいました、故郷を去つて早一月になります、だが忘れられないのはあの盛んな見送りでした、驛頭に集まられた方々から勵まされ握手を求められて私は曾て味はつたことのない感激です、私は思はず眼頭の熱くなるのをどうすることも出來ませんでした、感激の坩堝に捲込まれた私の心をお察し下さい、日本人としてこれ以上の感激がありませうか、男子の本懐、男子の本望です、生還は期して居りません、陛下に捧げた此の身です、既に身も皇國の爲に捧げ皆樣の御期待に副ふ樣努力する覺悟です、さりとてには居られません

二、○○港を出て二十八時間、時化られて心臓の強い私も參つてしまひました、山の樣な波濤を突き進んで行く本艦は水面を走つてゐるのか潜水してゐるのか全く見當がつかない位でした、台灣に住んでゐて台灣海峡の荒方を知らないとは恥かしい認識不足だつたのです、漸く警備地についたのでほつとした樣な次第です、警備地は今でも夏の樣に單衣一枚で汗ばむくらゐです、秋にはまだ早い樣です

三、艦内生活、それは限りにも人々に知られてゐないのが殘念です、基地を離れて早や一ヶ月餘前にありながら上陸も出來ずに艦内生活です、野菜や飲料水は手に入りません、艦長、副長、乘組の生活です、敵の眞夏前に整活してゐて異郷の明月を眺はひ、蒼空に紺青な海を見て至つて暢氣ではありますが然し緊張して張切つた生活です、水兵さん達は日常の艦内生活に警備の重大な任務を帶びて居ります、艦内の手入れは申すに及ばず銃器の整備、設備の整備です、陸上では想像もつかないほどの緊張振りです

四、艦長、男子として[illegible]ほどの勇しいことはありません、向ひの山腹に支那兵が塹壕をセッセと構築を始めます、それからクルリと向きを變へる、戰鬪ラッパが響くと同時にそれぞれ部署につきます、艦橋から絶えず傳聲管を通して命令が下つて參ります、照準も間違ひない、彈丸も込めた、『撃て』の一令で砲口から火柱が飛び出す、艦はピリッと震動する、ヒユーと大氣を切つて行く二秒、四秒、凡そ五秒經つたであらう、『ドカン、バン』と炸裂したのが確して來ます、勇壯無比言語に絶します、生れて始めて實彈射撃を見たのでした、支那兵はキツト、『アイヨ〳〵』と言つてゐることでせう、山嶽に向つて歸つて行くのが見えました、然し敵は仲々頑強で要塞を放棄しません、二回目砲を放ちますと壕中の要塞も潰滅しそれつきり支那兵の姿を見受けませんでした、おかげで大分砲聲に馴れて今ではそれが樂しみになつて參りました

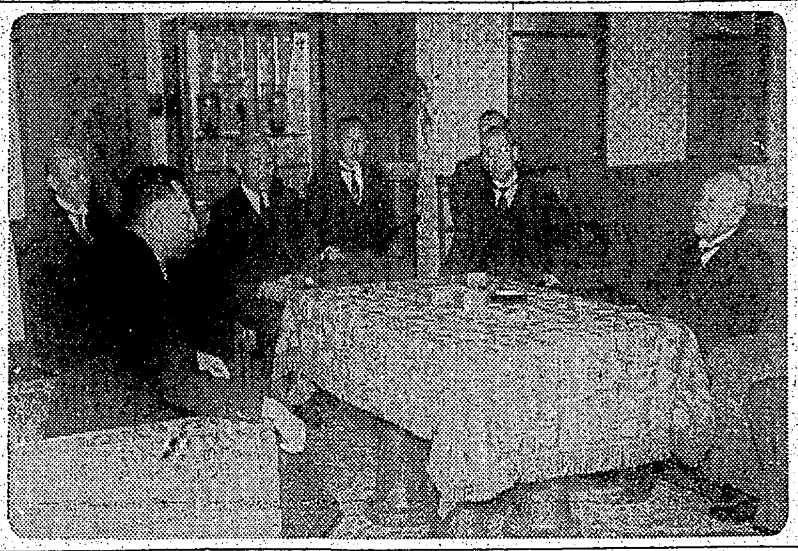
五、ジャンクの影すら見られず聊か淋しいです、それだけに警備網が完全なんです、それに反し漁船は澤山ですが我が海軍はそれには一指も觸れません、支那の逆宣傳に漁船撃沈なんてありますが實に腹が立ちます、ペンを揮るため憫く良民に對しては正義日本東亞の盟主大日本帝國は邪魔さへ致しません、支那側のデマとこの現實を思ひ合はすと憤慨せずに居る日本人が居りませうか、私はこの事實を故郷の方々に知らせ得るのを愉快に存じます

六、海上を往來する船は大部分は英船です、時に怪しい貨物船が通過すると臨檢に出かけます、内火艇を下し、機銃彈藥を積んで波を蹴つて行きます、私は腰にピストルをつけた勇ましい姿に變ります、突進又突進『止れ』と信號兵の合圖で止まります、舷側から跳び上る、船艙の封を切らせ中味を調べる、いろ〳〵なものを積んでゐますが軍需品でなければ進航を命ずるのです、支那船員達はやつと微笑を浮かべて頭をペコ〳〵下げて行きます、我が海軍の行動に不正はありません、白人の樣な狡猾さの微もない所に皇軍の眞の姿があります

七、國民の熱誠をこめた慰問袋が屆きます、これが唯一の第一線に居る人々の樂しみなんです、慰問品に慰問文など凡てのものが私達を勵ましてくれます、實に感激で涙がこぼれます、艦内の方は實に親切にして下さるので愉快な月日を送つてゐます、どなたも戰時態勢下で皇國のために努力を續けてゐることを思へば第一線に立つ人にも心強く任務につくことが出來ます、そのうち更に本艦は目覺ましき働きの出來る日のあることを待つてゐます、腕がうなつてなりません、本日は明治節の佳辰に當り艦内一同は大帝の御徳を偲びつつ遙拜式を擧行、全艦擧つて十二分の祝意を表しました

十一月三日 軍艦○○にて 吳溥盛森

(寫眞は吳氏)



張滿洲國總理帝都入り 治外法權撤廢のため來朝の滿洲國張總理は十日羽田飛行場着同夜帝都入りを爲し旅裝を解く暇もなく關係方面を訪問した(寫眞は近衛首相訪問の張總理)

貿易著しく改善
慶賀すべき現象(大藏省發表)

【東京十四日發同盟】大藏省發表昭和十一年中に於ける本邦貿易外收支は經常的收支受取超過一億六千九百餘万円、差引き支拂ひ超過三千六百餘万円であつて、これを昭和十年中貿易外收支經常的收支受取り超過一億七千八百餘万円、臨時的收支支拂ひ超過一億七千百餘万円、差引き支拂ひ超過一億九千二百餘万円に對比すれば經常的收支に於いては受取り超過額五千四百餘万円を増加し、臨時的收支に於いては支拂ひ超過額一億一百餘万円を減少し、通計して支拂ひ超過額の減少一億五千六百餘万円に達し著しい改善を示してゐる、殊に經常的收支に於いて經常的收入八億八千八百餘万円にして前年比六千七百五十餘万円增、經常的支拂ひ六億五千五百二十餘万円、前年比一千二百八十餘万円增と收支共に其の額を增加しながら收支尻に於いて著しく受取り超過を增加した事は極めて慶ぶべき現象である

貿易外收支改善の主因
對滿投資の減少

【東京十四日發同盟】昭和十一年の貿易外收支狀態は別項の如く著しく改善されたが貿易外收支の外に貿易を加へた昨年に於ける我が國際收支を見るに、貨物貿易入超一億三千七万円餘、銀出超一千八百四十六万円餘であるから結局一億二千八百十餘万円の支拂ひ超過に終つた、貿易外收支の好調は海運保險などの經常收入增加にも依るが收支の主因は對滿投資の減少に依るものであつて昭和十年の二億五千万円に對し昭和十一年は一億七千万円と八千万円を著減すると共に昭和十年に於ける滿鐵英貨債六千万円償還の如き臨時的支拂ひが全くなかつた爲めである

中野正剛氏 基隆に寄港

來る十七日基隆着の歐洲航路船白山丸には、歐洲へ使ひする代議士中野正剛氏及び前の首府外事課長で白耳義大使館へ赴任する坂本龍起氏並に家族も乘船し居る由、同船は朝基隆入港、正午出帆の筈

伊國代表が反對
宣言案は遂に意見一致せず
十三日 九國條約國會議

【ブラッセル十三日發同盟】九國條約國會議は十三日午前十一時から非公開會議を開き、先づスパーク議長より帝國政府の回答を披露した後、帝國政府の回答を中心に協議を遂げて各國代表の演說あり午後一時一旦散會した、各國代表の演說要旨左の如し

顧維鈞支那代表 事變に至つた以上、會議參加國が共同して日本に對し道義的、物質的壓迫に經濟的壓迫を加へ日本に對する物資及びクレヂットの供給停止を要求すると同時に、支那を援助せんことを要求する、支那は對日抗戰を續けるためには物資を必要とするのである

デヴィス米代表 九國會議は既に日本の感情を害しないやうに出來るだけの努力を拂つた若し日本が會議の再招請を受諾したならば吾々は日支雙方のため助力し得たと確信する、吾々と協力する途は今でも開かれてゐることを諒解せんことを切望する

デルボス佛代表 日支兩國の關係が速かに正常に復歸することを希望する、これがためには國際法の尊重のみが日支紛爭の永久的解決をなし得る唯一の手段である

イーデン英國代表 吾人は極東の紛爭は日支兩國のみの問題だとする議論には同意出來ない、蓋し生命財產の損失は日支兩國民のみに限定されてゐないからだ、英政府の要望し得るのは國際法の尊重を基礎とする政策のみだ

マレスコッチ伊代表 は日本の立場を擁護し、支那代表の對日經濟壓迫の提案に反對して左の如く述べた

支那代表の提議の如きは絶對に排撃せねばならぬ、吾々は斯かる目的のためにブラッセルに參集せるものでなく、右は全く會議の討議範圍を逸脫してゐる、余は會議が今後如何なる方法に依りこの難局を打開するのか知りたい

最後にソ聯代表ポチョムキン氏は日支紛爭の平和的解決を希望する旨を述べ、斯くて各國代表の演說を終り英、米、佛三國代表は日本の軍事行動の非合法性を指摘し、『この行爲は全世界の非難を買つた』旨を強調した宣言案を提出して一旦散會、午後四時再開、宣言案の審議を開始したがマレスコッチ伊代表が日本の立場を支持して宣言案に反對したため議論紛糾し意見一致に至らず十五日午後四時會議を再開することとし午後七時四十五分散會した

宣言案内容

【ブラッセル十三日發同盟】十三日の九國條約國會議に提出された宣言案の内容は左の如きものと解される

一、今次事變に對する日本政府の[illegible]

太倉に突入
城の一角占領

【上海十四日發同盟至急報】我が軍は今朝太倉城に突入し城の一角を占領した

金門島住民が自治政府を組織
日支提携を目標に

【基隆電話】十三日午後基隆の確實なる筋に到達された情報によれば廈門沖金門島住民は我が海軍上陸以來初めて皇軍の眞價を識るに至り今まで無關心に過ぎてゐた蔣介石政權への反感燃え上り前欲諸求の重壓打破、眞の日支提携を目的として古老を中心に強力完全なる自治政府を組織した、同島に關する情報は極々廈門、福州方面にも逆宣傳され住民は狼狽し廈門、福州方面からは早くも避難を開始、既に四千名が香港に向つたが金門島からは一名の避難者もなく唯皇軍の攻略目標を知らぬ住民が僅か二百名ほど香港に向つたのみであると

大陸政策轉換
外交消息通の觀測

【ロンドン十二日發本社特電】ハリファックス卿がいよ〳〵來週早々伯林を訪問しヒトラー總統と會見するとの報道はローマに於けるチアノ外相とパース英國大使、ロンドンに於けるヴァンシッタート外務次官とグランデイ伊太利大使の兩會談と相俟ち、英政府の對獨伊政策の轉換を意味するものではないかとみられる、英政府がかく獨伊兩國と關係調整に乘り出した理由としてロンドン外交消息通は次の諸點を擧げてゐる

一、スペイン不干涉問題が一層落着きを見せてゐること

一、スペイン革命政權成立の見込み[illegible]

一、日支紛爭の結末[illegible]

一、日獨伊防共協定に對する英國の[illegible]一方英伊兩國關係は地中海問題を契機として極めて險惡となつてゐることから伊政府も右獨伊協定を背景とする西歐ロカルノ協定問題の再提にまで發展するのではないかとの觀測も行はれてゐるが、伊政府が果して獨伊兩國との接近に乘出すか否かは未だ皆た疑問の餘地があるとされてゐる

三ケ月ぶりに小學校も開校
校舎校庭に空爆の跡

【上海十三日發本社特電】上海は十一日と明朗化し居留邦人の子供達が待ちに待つた小學校も十一日萬國平和記念日を期し再び開校した、八月十三日以來實に三月振りである、盲爆された敵飛行機の空爆に遭ひ數十發の砲彈を受けた跡が校庭や校舎に殘つて小學生の心を痛々しく刺戟してゐる、今日まで頑張つてゐたのは僅に男女小學生合せて五十人足らずである、毎日午前九時から二時間キチンと時間表を作り授業を始めてゐる、廣い校舎には海軍の兵隊さんがいたいけない兒童達を守つてゐる、校庭に遊ぶ元氣な男の子に聞くと初めの中は隨分怖かつたよ、けどすぐ慣れてしまつたし、それに兵隊さんが來るし、勇しい日本の飛行機がその上を飛んで呉れるからもう何んともないよと元氣に語る、又授業後行非市部小學校長は語る

なるべく早く開校して子供達の教育を遅らせぬよう努めて來た九月二十日頃學校が開けぬならせめて教材でも與へ夫々家庭で勉強して貰ふ考で一週間分づつの課題を獎勵局にして父兄に配りました、無敵皇軍の力で戰線も遠方になり上海も明朗化しつつありますので去十一日萬國平和記念日に三月振りで開校しました、兒童も懷しがり軍艦もすつかり忘れ元氣に遊び熱心に授業を受けてゐます

敵の負傷兵を病院に見舞ふ
情けある山澤部隊長

【上海十三日發本社特電】十二日の朝城前に二千の敵を屠した山澤部隊長は十二日午後一時北停車郊外にある米獨佛支共同經營の赤十字上海醫療院を訪れ同院に收容されてゐる支那の負傷兵を見舞つた、數名の部下に美しい菊の花束を持たせた部隊長が病院を訪れ日本は東洋平和の爲め正義の軍を起し我に抵抗する敵は悉く之を殪すが良民には絶對に危害を加へない、支那兵と雖も負傷者には十分手當して欲しいと述べた、各國醫師達も大いに感激し獨逸人醫師は片言の日本語で『アリガト』と謝意を表した

三輪參謀長出北

三輪馬公要港部參謀長は十一日出北、總督府で開催された中央防空委員會に出席の上十四日午前八時十五分台北驛發歸任した

ム伊首相が調停乘出し說
ハバス通信の報道

【ローマ十三日發同盟】ヒトラー獨總統の日支紛爭調停說が傳へられたる折柄ハバス通信社はローマ外交界情報として『ムッソリーニ伊首相は日支紛爭の調停に乘り出す意向』と報道し注意を惹いてゐる

その日その日

○蔣介石の"浙江死守"は彼の郷里が浙江省なるが故か、それとも浙江の南、福建が氣になる爲か

○今に及んで何の"死守"ぞ、大勢すでに定まつてゐることを、同情し得ぬ者の悲哀よ

○嘉定、太倉の次は崑山、蘇州といふ順序、更に長驅南京を衝く、國府の運命や日に迫まる

○"西安の空襲"は、國民の頭にもピンと來る、赤の前衛基地だけに陸鷲の爆撃の痛快味も一しほ

○あの手この手の九國條約國會議も風向き面白からず、機を見るに敏な英國、早速昇腰を探り出す

○ソレが、獨伊への接近策、鬼面で脅かし得ぬものには媚態、まるでナニかのやうだ

○苦樂を共にしてこそ夫婦の情合も濃くなる、戰場で共に死線を越えて内台人の氣分も合流

人事

▲川村台南州知事 十四日朝來北(鐵道ホテル)十五日午前の急行にて歸任の筈

▲森田俊介氏(新竹州内務部長)十四日夜來北(朝陽號)

▲加藤朱藏氏(基隆工業組長)五日高砂丸にて歸台

▲岡田幸生氏(總督府社會課長)四日來北(日の丸館)

▲林義秀中佐(前臺灣軍參謀)十五日高砂丸で赴任

無絃琴

台北市の市民葬は十六日に台南市の分は十五日に夫々莊嚴裡に執行されることになつたが、台北市などでは當日市會議員が市吏員と共に手分けして自動車でお骨を迎へに行き、遺族と共に祭場に出向くといふ事にした外、市役所、市會議員、市軍人後援會などの團體が一體となつて殉國の烈士に對し最高級の營みを催すべく意氣込んでゐる▲官衙や銀行會社や諸團體及び個人等でも花輪や供物を供へたいとの希望者が殺到してゐる樣だが、何せよ式場に限りがあるので一々之を受ける事は事實上困難といふので、台北市では軍人後援會理事會の決定を經て、花輪及び供物の數を制限し、それ以外の志ある方面にはお斷りする事としたさうだが然し何としても氣が濟まぬとか或は特殊關係が有る樣な向は祭祀料としてでも……といふ風な意向である、然うすれば右の祭祀料は遺族の許へ屆ける筋もあるのだといふ▲兎に角、市葬は即ち市民葬であり(同種の公祭は街や庄でも行はれる事であらうが)國家國民のために聖戰に殉じた忠勇義烈の士を祭る"最後の營み"であるのだから、出來るだけ至誠の籠る意義ある市民葬たらしめたい。

浮標のごとき女 (137)

尾崎士郎 作
梁川剛一 畫

悲しき人々 (六)

刻々に變る街の風景や、兩側を通る異樣な服裝をした男女の群に見とれてゐるうちに三重子は確保の俥を忘れてしまつたのである。

氣がついたときには自分の俥の前に一台の俥が走つてはゐたが、しかし同じやうな洋服を着てゐてもそれが權利でないことは一見してわかるのである。

困つた——と思ひながら、氣がついたとたんに、

「一寸待つて」

慌てて呼びかけたが、その言葉も俥屋には通じないらしい。振り向かうともしないで先へ行く俥を目當に驅けてゆくのである。このあたりへくると、歩いてゐるのは外國人だけで日本人の姿は一人も見えなかつた。

とう〳〵廣い四ッ辻まで來たところで三重子は大聲で喚きたてた。

「おろして——ねえ、降ろして」

チョッピイ(髪?)の車夫もやつと彼女が呼びかけてゐる聲に氣がついたらしい。きよとんとした顔をあげて早口に何かしやべつてゐる樣子だつたが、三重子には通じなかつた。何を言つてゐるのか三重子には通じなかつた。

やつと手眞似で降りたいといふ意思表示をしてみせると『あゝさうか』と漸く納得したやうな顔をして梶棒をおろしたのである。

しかし、俥を降りたものの、どうしていいか判らなかつた。ぼんやり立つてゐると俥屋は料金を請求するのであらう。車夫はすつかり對手を見くびつた態度で何かしきりにしやべりながら手を差しのべるのであつた。

今まで感じなかつた不安が急に彼女の胸にこみ上げてきた。そこと財布を出して五十錢銀貨を一枚渡すと、彼はじろりとあたりを見渡してから不意にいきりたつた聲で叫び出した。

すると何處から出てきたのか支那人の群が彼女をとりまいて面白さうに騒いでゐる。不安と恐怖に蒼ざめた三重子はがた〳〵顫へだした。慌てて財布の口を開いてもう一枚の銀貨を取出さうとした時、不意にうしろから一つの顔が覗きこんだ。

「どうかなすつたんですか?」

びくッとして振りかへると帽子を被らないで長い髪を片手でかきあげながら一人の青年が心配さうな顔をしてすぐ後ろに立つてゐた。

——日本人だ、と判ると三重子はやつと救はれたといふ思ひで、早口にさつきまでの經緯を說明した。

「ほんとに何うしたんでございませう。氣がついてみるとかうゐないんですもの」

「さういふことはよくありますがね、しかし妙な場所でなくてよかつたですよ。だが、困つたですな、ホテルがわからないのは」

彼が車夫の方をむいて大きな聲で怒鳴りつけると車夫はそのままぶつ〳〵つぶやきながら歸つていつた。

「とにかく——からなすつちやどうです、僕はこのすぐ先の英租界の曲り角にある大陸公寓といふアパートで自炊をしてゐるんですが、もしよかつたらそこまでいらつしやいませんか、電話で日本租界にある商館を一つ一つ聞いてみたら何とか判るでせう」

「ええ」

と三重子は飛び立つやうな喜びで答へた。

「さうして頂ければ有難いと存じますわ」

「ぢやあ」

青年は屈託のない聲でいつてから先に立つて歩きだした。よれよれの洋服を着て帽子も被つてゐない彼の姿は一見しただけでルンペンか放浪者か——それでなくとも一定の職業についてゐない人間であることはすぐわかるのであつたが、しかし、何處か素直のある調子と、おつとりとした物の言ひ方が彼女をすつかり安心させたのである。

「でも御國でよかつたですよ」

二、三町行つた所で青年は一つの路地を指さして立ち止まつた。

「此處です」

侠艶女間諜(?)の最期
暴戻支那軍に捕はれ 従容 刑場に消ゆ
厦門で謳はれた侠妓

曾つて稻江の嬌妓としてその艶名を謳はれた阿美こと台北市大稻埕町二ノ一四六番戸陳氏美が廈門で暴戻支那軍のため女間諜の嫌疑を受け銃殺されたが死に直面した瞬間にも少しも動ずる所なく従容として刑に就いた、その立派な最期が稻江一帶に傳はり彼女の前生を知る者をして感激させてゐる、彼女は二十三、四歳の頃迄は稻江に在籍し相當の藝妓として知られてゐたがそれでゐて彼女は、あまり藝者の持主ではなく男まさりのはきはきした活潑な気性で何よりも気性で讃れたと云はれ當時稻江一帶に潑行闊歩した無頼漢連も彼女には一目も二目も置いた許りでなく、彼等ならず者が台湾刀を振りかざし血の雨を降らしてゐる中へ彼女が敢然身を躍らし一喝を加へればそれで喧嘩は終ひだと云ふのであるから如何に彼女の性格が豪毅であつたかを知る事が出來る

この男まさりの不屈の性格が十四、五年頃の夢想をかりし彼女を駆つて新天地廈門へ赴かせたが、然し聰明な 彼女は廈門に渡つてからは廈門を側面から支配するのは女性である事を見抜いて藝者屋を開き一流の興業家として廈門に君臨したものである、まだ彼女は若い藝者連を使つて廈門支那要人間に隠然たる勢力を有し支那人に同じては雇聘者としての腕前を揮ふ支那人連も彼女の前には全く頭が上らなかつたと云はれてゐる、それはたしか厦門の 在留邦人が引き揚げ直前、折りにこり固まつた廣東東部日五十一師が廈門に乗り込んだ頃の事、日に日に暴戻振りを發揮して行く同軍の正規兵並に便衣隊が城内からして無辜の邦人を拉致しては惨虐の限りを盡してゐるのを見かねた彼女は我が身の危險をもかへり見ず、ここ……でさへ手を下し得なかつた支那軍の真只中へ大膽にも乗り込み勝手に談判をなし遂に相手をして恐れしめたと云ふ、それだけに彼女の身にも危險が増加し殊に厦門往復毎日の動きにつれて彼女の身辺には秘密暗殺隊が付纏ひピストルをつきつけられた事も一度や二度ではなかつたがその度毎に彼女は持前の大膽にして聰明な性格で危險を脱し抜けて來たものである、右に關し 彼女の 事を知悉してゐる台湾拓殖出商業社台鉄物館[illegible]氏は次の如くに彼女を激賞してゐる

陳氏美さんは全く厦門になくてはならぬ大姐御であつたが惜しい事に暴戻な支那軍のために銃殺され残念でした、彼女は廈門に[illegible]が引き揚げて來た時に我々と一しょに引き揚げて來たが不退轉の気性の彼女はその後香港經由に正式に参拝した後香港に乗り込みそれから厦門に渡つた所を捕へられたのです、彼女の銃殺の場面を目撃した者もあるのですがその死は確実と思ひますが刑場に曳かれて行く途中でも通行人から煙草を貰つてすぱすぱと吸ひ愈々刑を執行される瞬間に直面しても目かくしを断り少しも動ずる事なく死に就いたと云ふ事でその勇敢さには全く感激の他はありません

彼女の大稻埕の 實家に は年老いた父母と息子一人、娘一人の四人家族が残つてゐるが息子の陳鐵万(仮名)は本年二十歳の體格の優秀な青年で今後は母の遺志を継ぎ皇国のために盡したいとけなげに語つてゐる（寫眞は阿美）

野戰移動酒保の 従業員に早變り
途中で偶然〇〇部隊長に會ひ 馬上十餘粁をお供

【〇〇にて笹盛特派員發】けふは酒保のトラックをキヤッチした、ところが何とこれは移動酒保の[illegible]方面行とは違つてゐた、まさか斯うなりやと腹を決めて行先知らぬ道中だ、酒保も酒保、野戰移動酒保と御座い、割烹行廻りで酒草を食ひつつ進むわけである、これがビジネスだ、クリークの前面にはお定りのトーチカ式壕がうねりを打つてつづいてゐる、支那兵の死骸が鬱つとなく轉つたままになつてゐるのだ

「それつ酒保が來た」と兵隊さんの喜び顔は相好崩した嬉しい一トラックに飛びついて來る「をぢさん羊羹お呉れよ」「煙草はあるかし」と大変な騒ぎ……記者も酒保のおぢさんにされて「おぢさん早くそのドロップスを取つて呉れ」とせがまれる、斯うなつちや「僕は新聞記者だ」とも言つて居られない「よう！來たこいつぁ綾らだい」と酒保の連中に値を聴きつつ手傳はなければならない羽目になつた

なつた頃には陽も落ちた、前線へ進む〇〇部隊が泥濘の道を物ともせずロープで砲車を引張つてゐる、薄暮の中畔道を通つて馬上豊かに〇〇部隊長を随へて記者の方へ來る將軍がある、〇〇部隊長であつた、〇〇にも縁のある將軍である

「いよう笹盛君か、今夜は俺の所へ泊つてゆけ、今から〇〇部隊長に會ひに行くところだ、君も來い」と馬上から聲がかかる

「この道ぢや歩いては大變だ、馬を貸すから從いて來い」といふ、馬にはどうも自信がないが歩いては大変だ、馬を借りて跨がつたまではいいがリュックサックを背負つて馬に乗つた恰好は見られない圖であつたと思ふ、六粁か八粁か兎に角馬に乗つた乗せられて左にゆられ右にゆられて〇〇へ到着、ここはわが〇〇部隊が四旬に亘つてゐたところだがすでに状況は変つてゐる、〇〇部隊長もゐない、そこで又來た道を引返し夜の問夜を節いて〇〇部隊へ着いたのである、幸ひ落馬もせずに十餘粁を突破したといふと如何にも勇壮だが往復したわけである

「君のために一句詠まうか」といつて詠んだのが

「夜來る第一歩の明治節」

宴を飾るものとては翁一瓶のみであつた

宿舎の一室、お粗末至極のものである、吸物も一汁にお酒物とといふ陣中料理なのだ

出征した我が勇士の 家族の家賃を棒引き
心床しき楊喬木氏の美擧

本島人の家主と出征した店子を繞る銃後美談——台北市若竹町三ノ二四楊喬木氏は昭和六年の台北高商を出たインテリで現在台北納業信用組合に勤務してゐる、今回の事變に際し楊氏の知つてゐる内地人が次々に勇躍出征するのを見て感激すると共に台湾で平穏に生活出來る皇國の有難さに感激せずにはゐられない、それで銃を執つて御國に盡すことが出來ないまでも何とかしてこの感謝の一端を現はしたいと考へてゐたところ偶々楊氏の貸家から黒木軍曹君（本社士場員）が出征したので黒木君の家族は全部家賃の慰問に供することとしてそれを戰地の黒木君に報知した、當の黒木君は勿論のこと部隊長も戰友もこの楊氏の行為に感心すると共に立派な日本人だと認め合つた、黒木君は

自分の家主だから言ふ譯ではないが斯うした内地人一丸となつた力強い銃後を思ふと一死奉公の覺悟を益々固くせずにはゐられない

と楊氏の手紙を同封して本社に手紙を寄せて來た、楊氏を十日自宅に訪問すると

何も出來ぬ私の皇國に對する感謝の一端にしか過ぎません讃められるに値しませんよ、銃後の我々の當然の義務ですよ

と多くを語らず當然としてしまふ謙遜振りに益々楊氏の心情の美しさが偲ばれた

尚楊氏の手紙の内容は次の通り

無断の上海戰線にて皇國の為に御奮戰なされ夜も晝もない御多忙の御身にも不拘貴き時間を割いて御便りを賜はり御心盡しの程誠に感激措く能はざるものであります（中略）上海方面も貴殿の様な一死報國の貴き覺悟を以て奮戰する兵によつて正義の剣を振りかざすものですから正に鬼に金棒で最早その陥落も時日の問題でありませう、御出發に際し皇國の為に一身を捧げると言はれた貴殿を想起せば只唯敬服と感謝の念に満ちてゐます、その感謝の一端として御出征中貴殿の家賃は皆御免除致しまして貴殿の家族の慰問に供したら存じますからどうかこの方の御心配なく一意御國の為に立派な御手柄を樹てられ一日も早く凱旋の日を御待ち申して居ります、尚異郷に居られる故にて一層御自愛の程御願ひ申します

その後御家族一同壯元氣で居られますから御心配なく思ふ存分暴戻なる支那を膺懲せられんことを御祈願致します　楊喬木

（寫眞右は楊氏 左は黒木氏）

大橋公校から慰問袋

大橋公學校では嘗て同校生徒から戰地の兵隊さんに贈る慰問袋を募集してゐたがこのほど内容を點檢して三百八十個を二十七梱に梱包して十四日午前中に佐藤部隊宛に發送した（寫眞は同校からリヤカーで積出すところ）

山澄侍従武官 馬公發基隆へ

【馬公十四日發】山澄侍従武官は豫定を変更して十四日正午馬公着午後五時〇〇で馬公發基隆に向つた、この日要港部には桑名要港司令官、横井副官長、郡長代理佐野庶務課長、三浦街長その他官民代表の送迎があつた

十河辰男君 江南の野に散る
專賣野球團の主戰投手

專賣局野球團主戰投手として知られてゐた十河辰男君は一等兵として高橋部隊に属し江南の野に奮戰してゐたが十月四日羅店鎮附近の戰闘で戰死した旨十二日夜台北市幸町一五八の實兄武雄氏（二七）方へ公報があつた、同君は本年二十二才本年一月〇〇部隊に入營し平素の剛直な眞面目な性格とて隊でも成績良く去月十五日戰地から届けられた鉄砲の成績優秀の賞状が今は故人を偲ぶ遺品となつて了つた

野球は台湾商工学校卒業後専賣局に入つてから始めたもので天賦の性質が幸運にして早くも専賣局の投手として怪腕を振はせるに至つたもので昨年秋の對明大戰が同君の最後の活躍台となつて了つた

台北市大宮町專賣局勤務の兄武雄氏は語る

幼にして父を失ひ昨年母を亡くし兄弟二人の唯一の相談相手をまた御國に捧げました、先日は「クリークに飛び込んで風邪を引いて困つてゐる」と元気な便りがありましたが、弟の所屬でいまは〇〇陸軍病院に看護の床に居られる隊長[illegible]からは生死を共にと勇敢活躍したと戰況を報らして戴きましたから嘸かし勇ましく戰つてくれたものでせう、兄として欲を云へば今少し專賣團投手として活躍させたかつた

同君の郷里は香川縣香川郡[illegible]町で台北には兄武雄氏の外に實姉[illegible]さんが居る（寫眞は十河君）

〇〇艦に砲撃され 一發も放たず遁走
金門島占領の詳報

【〇〇電話】廈門港外金門島占領に参加した軍艦〇〇が久し振りに燃料食料補給の為め十二日朝〇〇に入港したが同艦乗組將校〇〇中佐は語る

金門島占領は大袈裟に言はれるが戰闘をやつた譯ではなく全く赤子の手を捻る位易々たることだ、第一敵には有力な海上部隊がないではないか、実はモンスーン時期になると一寸波の靜かな島に避難する必要もあるのでそれに金門島を選んだ譯だ、艦の流れぬ浅い泊場を選んで悠々走り廻り少しでも近附くと泊場からポンポン射ち出して面倒なので一寸掃蕩をやつたまでさその他の島でも目的は同じことだ、北中支にもつと重大な仕事があるのでさう何時までも小さな島にかかはりあつてはをられぬ、陸戰隊の努力もさることながら〇〇〇〇機の活躍は全く素晴しいものだつた、之から飛行機の御蔭による所が實に多い、本艦の飛行長も不眠不休で指揮を執つてゐる

尚同艦陸戰隊の指揮官として上陸した第〇〇隊長〇〇大尉は次の如く語つた、之は始めて聞された金門島占領の詳報である

金門島上陸は二十六日午前六時より開始された、最初廿四日軍艦〇〇の内火艇が接近偵察に赴いた所ポンポン射ち出したので保安隊が頑張つてゐるものとして翌二十五日午後本艦の艦載機が上空を飛翔偵察しその

機上より『日本軍は無辜の住民に對しては何も危害を加へるものではない、支那軍がもし戦闘にでもなればお前達は家の中に避難して居れ、又武装隊は須らく皇国の威武の前に恭順の意を表すべきである』とのビラを撒いた、この傳單と翌二十六日早朝艦隊が上陸開始の掩護として艦より大砲をブッ放した為め同島にゐた支那陸戰隊員五十名及び隣軍一個中隊は一發も發射せず我が皇軍の到着と同時に逃亡してしまひ私の指揮する我陸戦隊は安々と南方の後浦に進することが出来た、別に北方の水頭よりは聯合陸戰隊が上陸大々一發の銃聲も聞かず

一兵をも 損せず占領した譯だが、敵は斬壕まで築いて相當防備を施してゐた模様で、その慌てふためいて逃亡した模様が偲ばれ実に可笑しかつた、私の隊は砂利部落の附近にかかり追撃された敵の陣地をすつかり掃蕩して金門中学校に〇〇部を設け同夜は石段の上に物資を敷いて着のみ着のままでゴロ寢した住民は最初のうちは逃げてゐて我々が何もしないことを知るや又ゾロゾロ歸つて來て安心してゐた、翌日は北方古寧頭部落を衝いて更に平林部落の掃蕩を行ひ、本隊も[illegible]を通つて〇〇に到着後に同島に〇〇部を設けた

各部落を 掃蕩するに先立ち通譯をやり各住民と家の中にぢつとして居れと申渡してゐたが皆日本軍の親切なのに喜んで安心しきつてゐた、二日目には我々陸戦隊は小金門島に向ひ艦載機が爆彈を抱いて上空から警戒掩護する中を上陸占領掃蕩したが此處にも敵は一名もをらず又別の島にも保安隊が引き返したとの話で出掛けたが其處も矢張りもぬけの殻だつた、我々は金門島に廿九日迄ゐた、金門島は南北五里、東西三里の大きな島で人口も可成りあり、後浦だけでも一万人ゐる、此処は相當安住の地で綺麗な家がずつと並んでゐたが支那軍隊の所業に悩されてゐるらしく家の立派な割合に住民は疲弊し切つてゐた

若い者は 全部兵隊に徴發されたとかで老人と女が多く誰れも日本軍は神様だと喜び暴戻支那の兵隊の首を斬つて下さいと頻りに來た位だ、それからこの島に[illegible]が二名ほどゐるのに寄しくも出ックわし、彼等も非常に喜んで人夫の徴發や雑用に駈け廻り我々も大いに助かつた、小金門島も殆んど此島で此處は金門島よりも豊かでありこの小金門島占領の際には

厦門島か 近くで厦門島から砲彈が飛ぶと言ふので我々も緊張し監視を續けたが、又外の[illegible]厦門からも砲撃射撃を行つたが敵は一發も射つて來なかつた、それから二十八日に金門島[illegible]から敵軍が金門島奪還を目指して有力な部隊を集結しつつあるとの情報があつて、我々一戰かと大いに張り切つたが未だそんなニュースも入つて來ない所を見るとさてさて支那の兵隊は弱いものだね

香港の空氣惡化
抗日策謀の魔都と化す

【基隆電話】確實なる筋へ齎された香港よりの情報によれば香港その他の空氣は益々惡化し同地を中心に支那を繞る各國の要人やスパイが入り乱れて策動に努めつつあり、潜入した藍衣社員多数が抗日策動を行へば反將派も負けずに同志を糾合し魔都上海のお株を奪つたかの觀がある、英政府の下にあつては表面的に排日が出來ない為め名称を変へた反日運動が各所に起り現に数日前には僑胞會が國貨獎勵の名の下に日貨ボイコットを決議、又自動車トラック組合も日貨不積載同盟を決議、其他の排貨が傳はる等に空氣は益々悪化する許りである

スリル上海 本社特派員 福永泰助 ⑧
敵軍の陣地頭上を悠々旋回して猛爆
〇〇機に同乗大場鎭へ

第五信

彈丸避け鏡

今日は僕の生れて初めて、飛行機の爆撃といふものを味はつてきた。爆撃の味はひ方にも、いろいろとあるが、今日のは飛行機に乗つて自分の乗つてゐる飛行機から落とした爆彈がパツと炸裂する瞬間をつくづくと味はつてきたのである

鎌倉を立つとき、小学四年生の娘が

「お父さん、あぶないとこへは行きなさんなよ」

と言つて心配してくれた。

「ナニ、大丈夫だよ、僕のほうの安全なところにゐて、見てきたやうなホラを書くんだから」

僕はさう言つて、娘をなだめて出てきた。が、上海にきて見ると、どうしたものだかそのあぶないところへ行つて見たくて堪らないのは、僕ばかしではない。

「上海合同新聞の國本記者がやられたぞ」

報道部の囲子記者で、そんなことを言ふ人があつても、みんなの気持が少しも止まないのは、やつぱし恐いもの見たさか、それともスバラシイ記事を取りたいからか？

「飛行機で南京に連れてつて下さいよう」

僕は、上海にくるときから宣伝部にさういつて、海軍の報道部にせがんでゐたが、南京行きの代りに今日、空から陸軍の大場鎭攻撃に参加する海軍の〇〇機に乗ることを許された。

カメラを持つて飛行場に駈け着けると、飛行場の大家少佐が、

「あの、二番機に乗つて下さい。私は一番機に乗りますから」

と言つて、飛行服に飛行帽を貸してくれた。僕は、コンビネーションになつた飛行服を着ると、チヤックをグイと上に引いて、股の上からカメラを肩に掛けた。

「この飛行機です」

さう言つて、僕が同乗する飛行機の長の横山三等航空兵曹が、傍へきて、〇〇。

この、一番後の座席といふのは〇〇〇〇が据付けてある、本來ならば射手の乗る所なのだが、上海の制空權はすつかりわれに帰してゐるものだから、その機關銃でもつてお相手すべき敵機といふものがゐない。其処で機關銃も要らなければ射手も不要だといふので特派員の僕が其処へ乗せて貰へたワケなのである。

横山兵曹がパラシュウトのバンドを肩に掛けてくれる。その使ひ方を教へてくれる。まるでお醫者の様だ。

支度が整ふと兵曹は何やら合圖をした。とプロペラーがブルンブルンと廻り出す——

「こないだ、貴方のところを下から一發機關銃の奴めがやつて來ましてね……でも運よく私には中りませんでした」

出發を前にして兵曹は、擬所を指でさし示しながら、ゴムの伝声管で言つた。

……南無アミダブツ南無アミダブツ。

途端にハッと気が付いて、僕は手を胸に當てた。鎌倉を立つ前に逗子の重松大佐からいただいた、特殊鋼で造つた「彈丸避け鏡」が、チヨッキのポケットに入つてゐて丁度左の胸のところ——つまり心臓を護つてゐるのだ。だがチョッキのポケットに縦に入れてあるのでは、下から打ち上げてくる彈丸に対しては何の役にも立たないので、こいつどうしたものだらうと思つてゐる内に、プロペラーの回轉はいよいよ激しくなつたかと見る間に、機は草黄色な砂埋りを揚げて飛行場を南に向つて滑走し出した。

大場鎭總攻撃

僕は飛行機に乗つたことはこれが初めてではない。何年か前に、「君の翼ひ」といふ小説を書くために霞ケ浦で、これは練習機だつたが垂直旋回や宙返りや錐揉みやインメルマーン・ターンなどを一通りやつて見せて貰つたことがあるし、また去年の暮には十四人乗りのダグラスで上海の飛行場から南京まで乗つて行つたことがある。だからマンザラのウブではない訳なのだが、併し今日のはそれとは少し話が違ふ。軍用機が敵を前にして行くのだ。爆撃に行くやつには敵の陣地には高射砲もあるだらうし、高射機關銃もあるだらう。小銃の一斉射撃だつて、中らないとは限らない。なぜかなら、支那さんの飛行機とは違つて味方のはベラ棒に低空を飛び廻るのだから。

（こいつあ、サウタウのスリル物だぞ。）

さう思ふと、飛びながらアンマリいい気持ちがしない。ダグラスの時とはトンダ違ひだ。だが併し今更どうすることも出來ない。

大家少佐の指揮機は、大きく右に廻つてから機首を北に向けた。

僕達の二番機はその右後にピタリと寄り添つて、一番編隊で晴れ渡つた江南の空をグングンと高度を高めて行く。

座席に立ち上つて見ると、右手に黄浦江、行く手に大揚子江が帯のやうに連なつて、その上には誰の艦隊か知らないが、艦艇船舶の一艘が錨を打つてゐる。

立つてゐると、吹き倒されるばかりの風當りだが、併し江南の空はちつとも寒くない。

カメラを出して、其処ら中をパチパチと撮る。機の動搖が酷いので、露出は二百五十分の一秒にしたが、アトから考へれば五百分の一秒にすればよかつたと思つた。

「いま高度五百です」

と、横山兵曹がゴムの管を持つて敎へてくれた。頭の上や、時に翼の辺りを掠めるやうなものが飛んで過ぎるのは、空にはいつしか霧が掛かつたのだらう。

下を見ると、もう我陸軍の大部隊がウヂョウヂョする程ゐる筈の地區へ來てゐるのだが兵隊らしいものは一つも見えない。カーキー色の土地にカーキー服、しかも僕達の頭には網を張り草を生やしてゐる今日の兵隊さんは、九百米の高さに昇るともう何にも判らなくなるものと見える。

「馬が見えるでせう？」

横山兵曹がまた傳声管でさう言つて、下を指さした。その方向を見るとなるほど居るわ、居るわ。日本軍のらしい軍馬が砂粒にたかる蟻か何ぞのやうに集まつてゐるところがある。

こりや馬にもカーキー服を着せる必要があるわいと思つてゐると何処だかには日の丸の旗が印たく地面に擴いてあるのがトテモハッキリと見えた。

「大場鎭はどれです？」

と僕は、横山兵曹に傳声管で訊いて見た。

すると兵曹は首を延ばして機の下を指した。

「この下にあるのが大場鎭です」

陸軍が大場鎭の総攻撃をやつてゐるので、空から大場鎭攻撃に参加しようと思つてやつてきたその大場鎭は、テンダ、もう足の下にあるのか？

下のはうにバッバッと、白い煙があがつてゐるのは味方の砲兵陣地からの砲彈だらうか？ 何処だかには赤い焔がメラメラと燃えて……

爆撃又爆撃

〇〇〇の上にきたときに、左前を進んでゐる指揮機の後部座席から手があがつた。「発射用意」の合図だ。僕達の乗つてゐる二番機は、指揮機とスレスレに並んで飛んでゐる。向ふの機の中部座席に乗つてゐる大家少佐の顔や、いま手を上げた兵曹の顔が手にとるやうに見える距離だ。僕は、カメラを外に出して、指揮機に狙ひを措めた。

指揮機の手が下りると一緒に、大きな爆彈の一つが横になつたまま下に、指揮機の機腹を離れた。とその瞬間に僕は二百五十分の一秒のシヤッターをカタンと押した

「御覧なさい、あすこを」

と、ハンドルを引き絞つた横山兵曹は立ち上つて右下方の一点を指した。

見ると二つの黒い點が段々と小さくなりながら、飛行機と一緒にまだ前へ前へと進んでゐる。そうして道路を越え、クリークを渡り人家を越えたかと思ふと森の中にパッと赤い閃光が光つたと見る間に、黒煙がムクムクと湧いてまた二發。

喰しく唸り續けてゐる飛行機の爆音の間に、ドーンドーンと續けて二回、底力のある爆發の響きがきこえたのは、いまの爆彈が落ちた音に違ひなかつた。

慌ててフイルムを捲いた僕は、眼の下を狙つてまたシャッターを切つた。

黒煙がムクムクと園の下から立ち昇つてゐる。落ちたのは何しろ〇〇〇瓩といふ大爆弾だから堪まらない。敵の野砲陣地か兵營か知らないけれど、敵陣地に吹つ飛んで何十人といふ敵兵は空に舞ひ上つてしまつたに違ひない。

見事な爆撃を了へた僕達の隊は機首をとつて、大きく右に旋回した

敵陣の無電台がまた目に入つた。「敵軍が一ッぱい集つてゐます」と言つた。僕はそれを見ていよいよと思った。上海街道に沿つて大場鎭を突破したわが戰車隊はもう——

時計を見ると午前十一時四十分だ

敵の無電台に集結してゐるのだ。何という素晴らしい活躍振りだらう。

ふとこの時、僕は下の何処かの陣地から敵の高射機關銃が、僕達の飛行機目掛けて射撃をしてゐるのではないかと思つてゾッとした

機は鈍重な〇〇機だし、それに高度を低くして飛んでゐるのだから、高射機關銃にとつてはあつらへ向きの目標だ。

いや實際、数多い味方の〇〇機の中には、さうした〇〇〇〇〇の犠牲になつてゐるのがあるのだ。

若し彈丸がガソリン・タンクにでも中つて火を噴き出したときは、早速落下傘の御厄介にならなければならないのだが——と思つて、僕は脚下にある落下傘の取手に觸れて見た。

だが併し、下は敵の陣地だ。無事に降りたところで無愛想な支那兵のことだから、耳をチョン切つて銃剣でグサリとくるに違ひない。

運よく大隊長か何かが居合はして、従軍記者の腕章を見て「これ非戰闘員アル。助けるよろしい」と言つて助けてくれたとしても、メシもろくろく喰はして貰へないで、鉄の台所で後かれながら南京へ連れて行かれるのだつたらツマラナイ。

（南京なんて真平だ）

さう思ふと勝手にしやがれといふ氣になつて、落下傘なんかに頼つて見たのがバカバカしくなつた

死なば諸共だと決心して、首を延ばして横山兵曹と中空航空兵の顔を覗くと、これはまた空のピクニックにでもやつてきたやうな朗かな顔をしてゐる。

それを見るとどうやらこちらも落着いてきた。さうして（高射機関銃なんか怒つてやしないんだ）といふ氣がしてきた。尤も、鳴つてゐてもやかましいプロペラーの音に掻き消されて、タタタタタは耳に入りはしないのだが——。

さうかうする内に機は目標の上にきたらしく、指揮機の後部座席では、一人の航空兵が一心に照準器を狙つてゐる。僕はそのまた指揮機を狙つてカメラを向けた。

だがいつまで経つても指揮機から爆弾の落ちる気配がないので、僕は横山兵曹に、

「どうしたんです？」

と訊いて見た。

「やり直しです」

兵曹はさう答へて、爆彈投下機から手を離した。

便乗者の僕は、実は早く引揚げて貰ひたかつたので「やり直し」はツラかつた。

隊は再び悠々と敵陣地の上を一周して、元の位置にやつてきた。

指揮機から黒い爆弾が離れたとき僕はカメラのシヤッターを押した。

（サア、これでおしまひだ）と思つて帰り支度をしようとすると、兵曹が、

「アト一回です」

と言つた。見ると、いままでの攻撃は指揮機だけがやつたので、僕達の機にはまだ二發残つてゐるのだつた

いやにゆつくりしてゐる大家隊長さんだと思つて少々焦れつたくなつたけれども仕方がなかつた。

ぢつと堪へて、もう一回旋回するのを待つたけれども、いやその時間の長い何のつて。尤も時計にして見れば二分か三分のことでしかないのだらうが——。

最後の爆撃を終へると兵曹が、

「爆撃終り……宜しく指揮に歸ります」

と敎へてくれた。僕はホッと胸を撫で下した。

大上海市中心地區が見え出した頃には僕は今迄のニヤニヤした氣分はケロリと忘れて、後部座席に大きく立ち上つて大上海をヘイゲイした。

メチャクチャに孔の空いた市政府は、一度ほど空の上からカメラに収めた。

元の飛行場に歸つた時には、自分が隊長になつて爆撃してきたやうに得意だつた。

機を下りた平空航空兵と横山兵曹の二人を、愛機の前でカメラに撮つてから時計を出して見ると十二時カッキリだつた。

勘定して見ると、たつた二十分の爆撃行だつたけれども、三時間も四時間も飛んでゐたやうな氣がした。（十月二十六日飛行場から歸ると直ぐ書く）

蘊蓄を傾けて 會員の研究發表
醫學會總會の第二日

第二十二回台湾醫學會總會第二日は第一會場帝大醫學部第一講堂、第二會場（同第五講堂）とも何れも午前九時より開會、直ちに會員の研究發表演説に入り各人一題十分間以内でその蘊蓄を吐露し終始真摯なる學究的雰圍氣を醸し正午一旦休憩、午後は一時より再開午前同様熱心な研究の發表討論が行はれた

貯炭場の火事

【基隆電話】十三日夜十時五十分頃基隆市大正町岸壁鐵道部貯炭場附近の石炭が自然發火を起し雨中現場に駆け付けた消防組が極力消火作業を行ひ一時間餘りの後やつと鎮火せしめた、發見したときは既に内部は燃えてゐたものらしく損害約一万円と稱されてゐる

會葬御禮　長谷川榮

會葬御禮　越智義一郎　親族一同

今晩の映画

◆芳乃館（晝十二時半分上映）1又太郎大明神 2大毎ニュース 3東日支那事變ニュース 4人生の初旅 縁談才

◆新世界館（晝十一時上映）1パ社ニュース50報 2珍藝放送の夕 3赤穂義士 4踊る百万両（前篇）

◆タイゲキ（晝十一時半上映）1座り込み結婚 2世界の軍事ニュース 3支那事變特報 衣裳花

◆大世界館（晝十二時半上映）1夜霧の怪盗 2東日ニュース 3そんなの一寸頂戴 4支那事變特報

◆國際館（晝十二時四分上映）1愛國の進軍 2東日ニュース 3支那事變ニュース

臺灣日日新報 夕刊
十一月十四日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木貫
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
基隆市旭町 基隆支局
臺中市寶町 臺中支局
臺南市末廣町 臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區 大阪支局
東京市京橋區 東京支局

銘酒 楓白鹿

敵艦四隻拿捕
黄浦江を遡江して

【軍艦○○にて十三日發同盟特派員】我が江上艦隊麾下の○○艦を始め輕快無比の艦艇○○隻は十二日午後五時二十七分黄浦江の閉塞堰啓開成功と共に同夜徹宵雨中に敵機雷の敷設狀況を調査し十三日も引續き掃江作業を繼續し、午前十一時には閉塞堰場の上にて敵機雷を發見これが引揚げを爲してゐるが一方松江、金山方面の我が陸軍に彈藥糧食を急遽補給する爲め軍艦○隻は十三日正午相前後して錨地を出航、補給船○隻を嚮導し支那が閉塞以來三月振りで黄浦江を遡江狹隘な水路を突破通過した、帝國軍艦の黄浦江上流遡江は海軍創設以來實に今回が最初にして其の意義は重大である、先發した僚艦○○及び○○は同日午後五時三十分頃閔行鎭上流に於いて敵砲艦二隻を拿捕し、本艦は其の下流附近で金山方面から下江の陸軍御用船南興號と行き會ひ任務を終了した

【上海十四日發同盟】艦隊報道部午前十時三十分發表―帝國海軍は黄浦江水路の啓開及び航行危險物の清掃に努めつつありしが十三日未明帝國軍艦保津、比良は黄浦口を遡江、閔行に到着、松江方面の陸軍と完全に連絡せり、その際支那砲艦四隻を捕獲せり

平湖に向つて進撃

【松江にて十四日發同盟特派員】我杭州戰線○○部隊の一部は海岸線に添ひ西方に進撃、十三日來海鹽の敵陣地攻撃を開始した、尚他の一部は金山衛城北方地區より平湖に向つて進撃中で随所に戰鬪が行はれてゐる

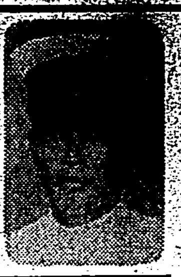
決死・敵前渡河敢行

【松江十三日發本社特電】杭州灣上陸部隊の奇襲にもろくも敗走した敵の大部隊が先づ第一に防禦陣地を張つたのは松江南方米市渡を中心とする黄浦江線であつた、我が快速谷川部隊は世界に誇る敵前上陸の勢を驅つて八日午後六時逸早く黄浦江南岸中耶村に進し野口部隊、山田部隊、野上部隊の三部隊は世界に誇る決死隊を以て小船○艘による大膽なる敵前渡河を敢行した、敵は正面の一角を中心に東西兩部隊は機銃掃射、砲撃の猛烈を以て必死の抵抗を試みた爲め第一に突破した岩本部隊の佐藤少佐以下悲壯な人柱となつて殪れ結城中尉以下の戰死者を出したが勇敢なる將兵一同は毫もひるまず敵兵一千を殪し九日午前四時見事黄浦江渡河に成功したのだつたかくて第一線を破られた敵は雪崩をうつて敗走し○翼長谷川部隊長の進出を容易ならしめ我勝利を確保するの動功を樹てたのである

正義日本の眞姿を見て

乘艦を許された
一本島人の感激
艦中手記を本社に寄す

今回の事變に際し軍夫を志願し許されて目下戰線にある本島人の勇敢なる活躍振りはこれまで數度か報道されたが、これ等は總て陸軍部隊に屬するものばかりであつた、以下紹介しようとするのは海軍に關するもので、通訳として乘艦を許された一インテリ本島人吳盛森氏―調査の結果、台北市東園公學校訓導と判明―が目下皇軍本部支那沿岸の上で日夜警備の任に當つてゐる軍艦○○上で認めこのほど本社に寄せて來た『戰線より故郷の皆さんへ』と題する手記である、この手記には一本島人として乘艦を許された光榮、日本人としての感激、日本人としての矜持、正義日本の姿を眼のあたりに見、また感激して悲憤支那の迷夢に徹底せずにゐられない樣、地上では到底味ふ事の出來ぬ樣な皇軍將士の勞苦が切々と滲み出てゐる



一、小生去る十月十四日乘艦を許され光輝ある帝國軍艦にて第一線に活躍してゐる本島人です、本島人にしてこれ程の名譽があり ませうか、之に過ぐる光榮がありませうか、私自身を始め一家一族の名譽であり實に我ながら幸運児だと痛感する次第です、私は選ばれた戰士として尽忠報國の至誠につきました、私の喜びをお察し下さい、母も喜こんでくれました、兄弟も同胞の方にも敵へ手運も誇感手を挙げて盛んな歡を送つて下さいました、故郷を去つて早一月になります、だが忘れられないのはあの盛んな見送りでした、駅頭に集まられた方々から励まされ握手を求められて私は曾て味はつたことのない感激です、私は思はず眼頭の熱くなるのをどうすることも出來ませんでした、感激の坩堝に捲込まれた私の心をお察し下さい、日本人としてこれ以上の感激がありませうか、男子の本懐、男子の本望です、生還は期して居りません、陛下に捧げた此の身です、此の身は皇國の為に皆様の御期待に副ふ様努力する覚悟です、さりせずには居られません

二、○○港を出て二十八時間、時化られて心臓の強い私も参つてしまひました、山の様な波濤を突き進んで行く本艦は水面を走つてゐるのか潜水してゐるのか全く見當がつかない位でした、台灣に住んでゐて台灣海峽の荒方を知らないとは恥かしい認識不足だつたのです、漸く警備地についたのでほつとした様な次第です、警備地は今でも夏の様に暑く一度も汗だくだくです、秋にはまだ早い様です

三、艦内生活、それは陸りにも人々に知られてゐないのが残念です、基地を離れて早や一ケ月、敵前にありながら上陸も出來ずに艦内生活です、野菜や飲料水は手に入りません、缺乏、缺乏の生活です、敵の眞鍮前に緊張してゐて異郷の明月を眺はひ、蒼空に紺青な海を見て至つて暢氣ではありますが然し緊張して張切つた生活です、水兵さん達は日常の艦内生活に警備の重大な任務を帶びて居ります、艦内の手入れは申すに及ばず、武器を磨いて戰闘準備です、艦上では想像もつかないほどの奮闘振りです

四、愚民、男子としてこれほどの勇しいことはありません、向ひの山腹に支那兵が塹壕をせつせと構築を始めます、それから…

五、ジャンクの影すら見られず胸が淋しいです、それだけに警備網が完全なんです、それに反し漁船は澤山ですが我が海軍はそれには一指も觸れません、支那の逆宣傳に漁船撃沈なんてありますが實に腹が立ちます、ペンを持ったら雌(？)く良民に對しては正義日本東亞の盟主大日本帝國は邪魔さへ致しません、支那側のデマとこの現實を思ひ合はすと憤慨せずに居る日本人が居りませうか、私はこの事實を故郷の方々に知らせ得るのを愉快に存じます

六、海上を往來する船は大部分は英船です、時に怪しい貨物船が通過すると巡檢に出かけます内火艇を下し、機銃彈藥を積んで波を蹴つて行きます、私は腰にピストルをつけた勇々しい姿に変ります、突進又突進『止れ』と信號兵の合圖で止まります、艇側から跳び上る、船艙の封を切らせ中味を調べる、いろいろなものを積んでゐますが軍需品でなければ進航を命ずるのです、支那船員達はやつと微笑を浮かべて頭をペコペコ下げて行きます、我が海軍の行動に不正はありません、白人の様な狡猾さの欠片もない所に皇軍の眞の姿があります

七、國民の熱誠をこめた慰問袋が届きます、これが唯一の第一線に居る人々の樂しみなんです、慰問品に慰問文など凡てのものが私達を励ましてくれます、實に感激で涙がこぼれます、艦内の方は實に親切にして下さるので愉快な月日を送つてゐます、どなたも戰時體制下で皇國のために努力を續けてゐることを思へば第一線に立つ人にも心強く任務につくことが出來ます、そのうち更に本艦は目覺ましき働きの出來る日のあることを待つてゐます、確かうなつてなりません、本日は明治節の佳辰に當り艦内一同は大帝の御徳を偲びつつ遥拜式を擧行、全艦挙つて十二分の祝意を表しました

十一月三日 軍艦○○にて
吳盛森

（寫眞は吳氏）

張滿洲國總理帝都入り

治外法權撤廢のため來朝の滿洲國張總理は十日羽田飛行場着帝都入りを為し旅裝を解く暇もなく關係方面を歴訪した（寫眞は近衞首相訪問の張總理）

貿易著しく改善
慶賀すべき現象（大藏省發表）

【東京十四日發同盟】大藏省發表 昭和十一年中に於ける本邦貿易外收支は經常的收支受取超過二億六千九百餘万円、差引き支拂ひ超過三千六百餘万円であつて、これを昭和十年中貿易外收支經常的收支受取超過一億七千八百餘万円、臨時的收支支拂ひ超過二億七千百餘万円、差引き支拂ひ超過一億九千二百餘万円に對比すれば經常的支拂ひ收支に於いては受取り超過額五千四百餘万円を増加し、臨時的收支に於いては支拂ひ超過額一億一百餘万円を減少し、通計して支拂ひ超過額の減少一億五千六百餘万円に達し著しい改善を示してゐる、殊に經常的收支において經常的收入八億八千八百餘万円にして前年比六千七百五十餘万円增、經常的支拂ひ六億五千五百二十餘万円、前年比一千二百八十餘万円增と收支共に其の量を增加しながら收支尻に於いて著しく受取り超過を增加した事は極めて慶ぶべき現象である

貿易外收支改善の主因
對滿投資の減少

【東京十四日發同盟】昭和十一年の貿易外收支狀態は別項の如く著しく改善されたが貿易外收支の外に貿易を加へた昨年に於ける我が國際收支を見るに、貨物貿易入超一億二千十七万円餘、銀出超二千八百四十六万円餘であるから結局一億二千八百十餘万円の支拂ひ超過に終つた貿易外收支の好調は海運保險などの經常收入增加にも依るが改善の主因は對滿投資の減少に依るものであつて昭和十年の二億五千万円に對し昭和十一年は一億七千万円と八千万円を著減すると共に昭和十年に於ける滿鐵英貨債六千万円償還の如き臨時的支拂ひが全くなかつた為めである

中野正剛氏基隆に寄港

中野正剛氏 來る十七日基隆着の歐洲航路船日山丸には、歐洲へ使ひする代議士中野正剛氏及び前の督府外事課長で白耳義大使館へ赴任する坂本龍起氏並に家族も乘船し居る由、尚同船は朝基隆入港、正午出帆の筈

伊國代表が反對
宣言案は遂に意見一致せず
十三日 九國條約國會議

【ブラッセル十三日發同盟】九國條約國會議は十三日午前十一時から非公開會議を開き、先づスパーク議長より帝國政府の回答を披露した後、帝國政府の回答を中心に協議を遂げて各國代表の演說あり午後一時一旦散會した、各國代表の演說要旨左の如し

顧維鈞支那代表 事茲に至つた以上、會議參加國が共同して日本に對し道義的、物質的並に經濟的壓迫を加へ日本に對する物質及びクレヂットの供給停止を要求すると同時に、支那を援助せんことを要求する、支那は對日抗戰を續けるためには物資を必要とするのである

デヴィス米代表 九國會議は既に日本の感情を害しないやうに出來るだけの努力を拂つた若し日本が會議の再招請を受諾したならば吾々は日支雙方のため助力し得たと確信する、吾々と協力する途は今でも開かれてゐることを諒解せんことを切望する

デルボス佛代表 日支兩國の關係が速かに正常に復歸することを希望する、これがためには國際法の尊重のみが日支紛爭の永久的解決をなし得る唯一の手段である

イーデン英國代表 吾人は極東の紛爭は日支兩國のみの問題だとする議論には同意出來ない、蓋し生命財産の損失は日支兩國民のみに限定されてゐないからだ、英政府の受諾し得るのは國際法の尊重を基礎とする政策のみだ

マレスコッチ伊代表 は日本の立場を擁護し、支那代表の對日經濟壓迫の提案に反對して左の如く述べた
支那代表の提議の如きは絶對に排撃せねばならぬ、吾々は斯かる目的のためにブラッセルに參集せるものでなく、右は全く會議の討議範圍を逸脱してゐる、余は會議が今後如何なる方法に依りこの難局を打開するのか知りたい

最後にソ聯代表ポチョムキン氏は簡單に日支紛爭の平和的解決を希望する旨を述べ、斯くて各國代表の演說を終り英、米、佛三國代表は日本の軍事行動の非合法性を指摘し、『この行為は全世界の非難を買つた』旨を強調した宣言案を提出して一應散會、午後四時再開、日本糾彈案の審議を開始したがマレスコッチ伊代表が日本の立場を支持して宣言案に反對したため議論沸騰し結局意見一致に至らず十五日午後四時會議を再開することとし午後七時四十五分散會した

宣言案内容

【ブラッセル十三日發同盟】十三日の九國條約國會議に提出された宣言案の内容は左の如きものと解さる
一、今次事變に對する日本政府の…

太倉に突入
城の一角占領

【上海十四日發同盟至急報】我が軍は今朝太倉城に突入し城の一角を占領した

金門島住民が
自治政府を組織
日支提携を目標に

【基隆電話】十三日午後基隆の確實なる筋に齎された情報によれば廈門沖金門島住民は我が海軍上陸以來初めて皇軍の眞價を識るに至り今まで無關心に過ぎてゐた蔣介石政權への反感燃え上り前欽誅求の軍閥打倒、眞の日支提携を目的として古老を中心に強力完全なる自治政府を組織した、同島に關する情報は廈門、福州方面にも逆宣傳され住民は狼狽し廈門、福州方面からは早くも避難を開始、既に四千名が香港に向つたが金門島からは一名の避難者もなく唯我軍の攻略前皇軍の眞意を知らぬ住民が僅か二百名ほど香港に向つたのみであると

大陸政策轉換
外交消息通の觀測

【ロンドン十二日發本社特電】ハリファックス樞相がいよいよ來週早々ベルリンを訪問ヒトラー總統と會見するとの報道はローマに於けるチアノ外相とパース英國駐伊大使、ロンドンに於けるヴアンシッタート外務次官とグランデイ駐英伊太利大使の兩會談と相まち、英政府の獨伊兩國政府の諒解、引いては大陸政策の轉換の前提ではないかとみられる、英政府がかく獨伊兩國と對立關係調整に乘り出した理由としてロンドン外交消息通は次の諸點を擧げてゐる
一、スペイン不干渉問題が一段落つきを見せてゐること
一、スペイン革命政權との間に通商關係成立の見込みが出來たこと
一、日支紛爭の結果極東に於ける英國權益が危殆に瀕したこと
一、日獨伊防共協定に對する局面一方英佛兩國關係は地中海問題を契機として極めて強固となつてゐることから伊政府も右對英伊紛爭解決交渉に參加し結局英獨伊を根幹とする西歐ロカルノ協定問題の再提にまで發展するのではないかとの觀測も行はれてゐるが、伊政府が果して獨伊兩國との接近に乘出すか否かは未だ吾た疑問の餘地があるとされてゐる

三ケ月ぶりに
小學校も開校
校舍校庭に空爆の跡

【上海十三日發本社特電】上海は日一日と明朗化し居留邦人の子供達が待ちに待つた小學校も十一日万國平和記念日を期し再び開校した、八月十三日以來實に三月振りである、盲滅法な敵飛行機の空爆に遭ひ數十發の砲彈を受けた跡が校庭や校舍に殘つて小學生の心を痛々しく刺戟してゐる、今日まで頑張つてゐたのは僅に男女小學生合せて五十人足らずである、毎日午前九時から三時間キチンと時間表を作り授業を始めてゐる、廣い校舍には海軍の兵隊さんがいたいけない兒童達を守つてゐる、校庭に遊ぶ元氣な男の子に聞くと
初めの中は随分怖かつたよ、けどすぐ慣れてしまつたし、それに兵隊さんが來るし、勇しい日本の飛行機がその上を飛んで呉れるからもう何んともないよと元氣に語る、又授業後行非市部小學校長は語る
なるべく早く開校して子供達の敎育を遅らせぬよう努めて來た九月二十日頃學校が開けぬならせめて敎材でも與へ夫々家庭で勉強して貰ふ考で一週間分づつの課題を渡島版にして父兄に配りました、無敵皇軍の力で戰線も遠方になり上海も明朗化しつつありますので去十一日万國平和記念日に三月振りで開校しました、兒童も懐しがり事變もすつかり忘れ元氣に遊び熱心に授業を受けてゐます

ム伊首相が
調停乘出し說
ハバス通信の報道

【ローマ十三日發同盟】ヒトラー獨總統の日支紛爭調停說が傳へられたる折柄ハバス通信社はローマ外交界情報として『ムッソリニ伊首相は日支紛爭の調停に乘り出す意向』と報道し注意を惹いてゐる

敵の負傷兵を
病院に見舞ふ
情けある山澤部隊長

【上海十三日發本社特電】十二日の朝敵前に二千の敵を殲した山澤部隊長は十二日午後一時北站驛郊外にある米獨佛支共同經營の赤十字上海醫療病院を訪れ同院に收容されてゐる支那の負傷兵を見舞つた數名の部下に美しい菊の花束を持たせ部隊長が病院を訪れ日本は東洋平和の為め正義の軍を起し我に抵抗する敵は悉く之を殪すが良民には絶對に危害を加へない、支那兵と雖も負傷者には十分手當して欲しいと述べた、各國醫師達も大いに感激し獨逸人醫師は片言の日本語で『アリガト』と謝意を表した

三輪參謀長出北

三輪馬公要港部參謀長は十一日出北、總督府で開催された中央防空委員會に出席の上十四日午前八時十五分台北驛發歸任した

見解は世界の大多數國の見解と全く背馳する
一、事變は世界各國に關係あり（戰爭が第三國に及ぼす影響を例證）日本の行動は九國條約及び不戰條約違反なり
一、會議は日本が拒否的態度を緩和せん事を希望する、然らざれば日本の態度に基く結果を檢討せざるを得ないだらう

その日その日

○
蔣介石の"浙江死守"は彼の郷里が浙江省なるが故か、それとも浙江の南、福建が氣になる為か
○
今に及んで何の"死守"ぞ、大勢すでに定まつてゐることを、同情し得ぬ者の悲哀よ
○
嘉定、太倉の次は崑山、蘇州といふ順序、更に長驅南京を衝く訳、國府の運命や旦に窮まる
○
"西安の空襲"は、國民の頭にもピンと來る、赤の前衛基地だけに陸離の壞滅の痛快味も一しほ
○
あの手この手の九國條約國會議も風向き面白からず、機を見るに敏な英國、早速外交を採り出す
○
ソレが、獨伊への接近、鬼面で脅かし得ぬものには媚態、まるでナニかのやうだ
○
苦樂を共にしてこそ夫婦の情合も濃くなる、戰場で共に死線を越えて内台人の氣分も合流

人事

▲川村臺南州知事 十四日朝來北（鐵道ホテル）十五日午前の急行にて歸任の筈
▲森田俊介氏（新竹州内務部長）十四日夜來北（蓬萊閣）
▲加藤米藏氏（基隆工業重役）五日高砂丸にて歸京
▲岡田幸生氏（轉賣局腦所長）四日來北（日の丸館）
▲林義秀中佐（前總督府參謀）十五日高砂丸で赴任

★無絃琴★

台北市の市民葬は十六日に台南市の分は十五日に夫々莊嚴裡に執行される事になつたが、台北市などでは當日市會議員が市吏員と共に手分けして自動車でお骨を迎へに行き、遺族と共に式場に出向くといふ事にした外、市役所、市會議員、市軍人後援會などの團體が一體となつて殉國の烈士に對し最高級の禮を盡すべく意氣込んでゐる▲官衙や銀行會社や諸團體及び個人等でも花輪や供物を供へたいとの希望者が殺到してゐる樣だが、何せ式場に限りがあるので一々之を受ける事は事實上困難といふので、台北市では軍人後援會理事會の決定を經て、花輪及び供物の數を制限し、それ以外の志ある方面にはお斷りする事としたさうだ▲然し何としても氣が濟まぬとか或は特殊關係が有る樣な向は祭祀料として……といふ風な意向であると、然うすれば右の祭祀料は遺族の許へ贈ける術もあるのだといふ▲兎に角、市葬は即ち市民葬であり（同樣の公葬は街や庄でも行はれる事であらうが）國家國民のために聖戰に殉じた忠勇義烈の士を送る"最後の營み"であるのだから、出來るだけ至誠の籠る意義ある市民葬たらしめたい。

浮標のごとき女
(137)
尾崎士郎作
梁川剛一畫

悲しき人々（六）

口を開いてあう一枚の銀貨を取出さうとした時、不意にうしろから一つの顔が覗きこんだ。
「どうかなすつたんですか？」
びくつとして振りかへると帽子を被らないで長髮を片手でかきあげながら一人の青年が心配さうな顔をしてすぐ後ろに立つてゐた。
――日本人だ、と判ると三重子はやつと救はれたといふ思ひで、早口にさつきまでの經緯を說明した。
「ほんとに何うしたんでございませう。氣がついてみるとあうゐないんですもの」
「さういふことはよくありますがね、しかし妙な場所でなくてよかつたですよ、だが、困つたですな、ホテルがわからないのは」
彼が車夫の方をむいて大きな聲で怒鳴りつけると車夫はそのままぶつぶつつぶやきながら歸つていつた。
「とにかく――からなすつちあどうです、僕はこのすぐ先の英國界の曲り角にある大民公寓といふアパートで自炊をしてゐるんですが、もしよかつたらそこまでいらつしやいませんか、電話で日本租界にある宿屋を一つ一つ聞いてみたら何とか判るでせう」
「ええ」
と三重子は飛び立つやうな悦びで答へた。
「さうして頂ければ有難いと思ひますが」
「ぢやあ」
青年は屈託のない聲でいつてから先に立つて歩きだした。よれよれの洋服を着て帽子も被つてゐない彼の姿は一見しただけでルンペンか放浪者か――それでなくとも一定の職業についてゐない人間であることはすぐわかるのであつたが、しかし、何処か氣品のある顔と、おつとりとした物の言ひ方が彼女をすつかり安心させたのである。
「でも本當によかつたですよ」
二、三町行つた所で青年は一つの露路を指さして立ち止まつた。
「此処です」

人影も見えなかつた。
とうとう廣い四ツ辻まで來たところで三重子は大聲で喚きたてた。
「おろして――ねえ、降ろして」
チョッピイ（膨皮）の車夫もやつと彼女が呼びかけてゐる聲に氣がついたらしい。きよとんとした顔をあげて早口に何かしやべつてゐる樣子だつたが、三重子には通じなかつた。何を言つてゐるのか――
やつと手眞似で降りたいといふ意思表示をしてみせると「あああうか」と漸く納得したやうな顔をして梶棒をおろしたのである。
しかし、車を降りたものの、どうしていいか判らなかつた。ぼんやり立つてゐると車夫は賃銀を請求するのであらう。車夫はすつかり對手を見くびつた態度で何かしきりにしやべりながら手を差しのべるのであつた。
今まで感じなかつた不安が急に彼女の胸にこみ上げてきた。そつと懐口を出して五十錢銀貨を一枚渡すと、彼はじろりとあたりを見廻してから不意にいきりたつた聲で叫び出した。
すると何処から出てきたのか支那人の群が彼女をとりまいて面白さうに騒いでゐる。不安と恐怖とがかしさとが一緒になつて全身がかたかたと慄へだした。慌てて

街を通る男女の風態や、兩側の群に交つて歩いてゐるうちに三重子は思はず俥の上で顔を伏せてしまつたのである。
氣がついたときには自分の俥の前に一台の俥が走つてはゐたが、しかし同じやうな洋服を着てゐてもそれが俥屋でないことは一見してわかるのである。
困つた――と思ひながら、氣がついたとたんに、
「一寸待つて」
慌てて呼びかけたが、その言葉も俥屋には通じないらしい。振り向かうともしないで先へ行く俥を目當に駈けてゆくのである。このあたりへくると、歩いてゐる

臺灣日日新報 夕刊
十一月十四日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 實
發行所 臺北市榮町四丁目廿貳番地 臺灣日日新報社
基隆市旭町 基隆支局
臺中市寶町 臺中支局
臺南市錦町 臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區 大阪支局
東京市京橋區 東京支局

銘酒 楓白鹿

敵艦四隻拿捕
黄浦江を遡江して

【軍艦○○にて十三日發同盟特派員】我が江上艦隊麾下の○○艦を始め輕快無比の艦艇○○隻は十二日午後五時二十七分黄浦江の閉塞堰啓開成功と共に同夜徹宵雨中に敵機雷の敷設狀況を調査し十三日も引續き掃江作業を繼續し、午前十一時には閉塞堰場の上にて敵機雷を發見これが引揚げを爲してゐるが一方松江、金山方面の我が陸軍に彈藥糧食を急遽補給する爲め軍艦○隻は十三日正午相前後して錨地を出航、補給船○隻を嚮導し支那が閉塞以來三月振りで黄浦江を遡江狹隘な水路を突破通過した、帝國軍艦の黄浦江上流遡江は海軍創設以來實に今回が最初にして其の意義は重大である、先發した僚艦○○及び○○は同日午後五時三十分頃閔行鎭上流に於いて敵砲艦二隻を拿捕し、本艦は其の下流附近で金山方面から下江の陸軍御用船南興號と行き會ひ任務を終了した

【上海十四日發同盟】艦隊報道部午前十時三十分發表―帝國海軍は黄浦江水路の啓開及び航行危險物の清掃に努めつつありしが十三日未明帝國軍艦保津、比良は黄浦口を遡江、閔行に到着、松江方面の陸軍と完全に連絡せり、その際支那砲艦四隻を捕獲せり

平湖に向つて進撃

【松江にて十四日發同盟特派員】我杭州戰線○○部隊の一部は海岸線に添ひ西方に進撃、十三日來滬杭線の敵陣地攻撃を開始した、尚他の一部は金山衛城北方地區より平湖に向つて進撃中で隨所に戰鬪が行はれてゐる

決死・敵前渡河敢行

【松江十三日發本社特電】杭州灣上陸部隊の奇襲に脆くも敗走した敵の大部隊が先づ第一に防禦陣地を張つたのは松江南方米市渡を中心とする黄浦江岸であつた、我が快速陸上部隊は世界に誇る敵前上陸の勢を駆つて八日午後六時頃早くも黄浦江南岸中塘村に迫り野口部隊は山田部隊長、野上部隊長の率ゆる決死隊を以て小舟○艘による大膽なる敵前渡河を敢行した、敵は正面の一角を中心に東西兩部隊は機銃陣へ砲撃の猛射を以て必死の抵抗を試みた爲め第一に突破した岩本部隊の佐藤少佐以下勇壯な人柱となつて壯烈な戰死者を出したが勇敢なる將兵一同は豪もひるまず敵兵一千を殪し九日午前四時見事黄埔江渡河に成功したのだつたかくて第一線を破られた敵は雪崩をうつて敗走し○翼長谷川部隊長の進出を容易ならしめ我勝利を確保するの勳功を樹てたのである

乘艦を許された一本島人の感激
艦中手記を本社に寄す
正義日本の眞姿を見て

今回の事變に際し軍夫を志願し許されて目下戰線にある本島人の勇敢なる活躍振りはこれまで幾度か報道されたが、これ等は總て陸軍部隊に屬するものばかりであつた、以下紹介しようとするのは海軍に關するもので、通譯として乘艦を許された一インテリ本島人吳墨森氏―調査の結果、台北市東園公學校訓導と判明―が目下荒波狂ふ南支那海上にて日夜警備の任に當つてゐる軍艦○○上で認めこの程本社に寄せて來た「戰線より故郷の皆さんへ」と題する手記である、この手記には一本島人として乘艦を許された光榮、日本人としての感激、日本人としての矜持、正義日本の姿を眼のあたりに見、また感激して愚昧支那の逆宣傳に憤慨せずにゐられない様、地上では到底想像も出來ぬ様な皇軍將士の勞苦が切々と滲み出てゐる

一、小生去る十月十四日乘艦を許され光榮ある帝國軍艦にて第一線に活躍してゐる本島人です、本島人にしてこれ程の名譽がありませうか、之に過ぐる光榮がありませうか、私自身を始め一家一族の名譽であり實に我ながら幸運兒だと感ずる次第です、私は選ばれた戰士として馬前に絶えずにつきました、私の喜びをお察し下さい、母も喜こんでくれました、兄弟も同僚の方にも敢へて子弾も省略手を擧げて盛んな歡を送つて下さいました、故郷を去つて早一月になります、だが忘れられないのはあの盛んな見送りでした、驛頭に集まられた方々から勵まされ握手を求められて私は曾て味はつたことのない感激です、私は思はず眼頭の熱くなるのをどうすることも出來ませんでした、感激の坩堝に捲込まれた私の心をお察し下さい、日本人としてこれ以上の感激がありませうか、男子の本懐、男子の本望です、生還は期して居りません、陛下に捧げた此の身です、既に身命は國の爲に皆樣の御期待に副ふ樣努力する許りです、さうせずには居られません

二、○○港を出て二十八時間、時化られて心臟の強い私も參つてしまひました、山の樣な波濤を突き進んで行く本艦は水面を走つてゐるのか潜水してゐるのか全く見當がつかない位でした、台灣に住んでゐて台灣海峽の荒方を知らないとは恥かしい認識不足だつたのです、漸く警備地についたのでほつとした樣な次第です、警備地は今でも夏の樣に單衣一枚で汗ばくださうです、秋にはまだ早い樣です

三、艦內生活、それは餘り人々に知られてゐないのが殘念です、基地を離れて早や一ケ月艦針にありながら上陸も出來ずに艦內生活です、野菜や飲料水は手に入りません、艦詰、罐詰の生活です、敵の要塞前に碇泊してゐて異郷の明月を眺めなひ、蒼空に紺青な海を見て至つて單調ではありますが然し緊張して張切つた生活です、水兵さん達は日常の艦內生活に警備の重大な任務を帶びて居ります、艦內の手入れは申すに及ばず銃器を磨いて戰鬪準備です、陸上では想像もつかないほどの緊張振りです

四、戰時、男子としてこれほどの勇しいことはありません、向ひの山腹に支那兵が要塞をセツセツと構築を始めます、それからやんと眼に映じたので目標と向きを變へる、戰鬪ラッパが響くと同時にそれぞれ部署につきます、艦橋から絶えず傳聲管を通して命令が下つて參ります、照準も間違ひない、彈丸も込めた、「撃て」の一令で砲口から火柱が飛び出す、艦はピリッと震動する、ヒューと大氣を切つて行く二秒、四秒、凡そ五秒經つたであらう、「ドカン、パン」と炸裂したのが砲して來ます、勇壯凄絶言語に絶します、生れて始めて實戰狀態を見たのでした、支那兵はキツト「アイョく」と言つてゐることでせう、山嶺に向つて逃つて行くのが見えました、然し敵は仲々頑強で要塞を放棄しません、二回目砲を放ちますと陣中の要塞も潰滅しそれつきり支那兵の姿を見受けませんでした、おかげで大分砲聲に馴れて今ではそれが樂しみになつて參りました

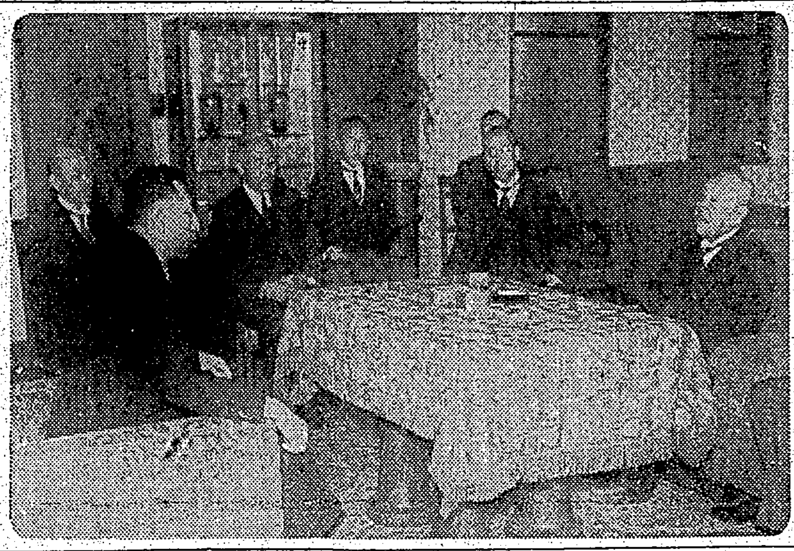
五、ジャンクの影すら見られず漁師が淋しいです、それだけに警備網が完全なんです、それに反し漁船は澤山ですが我が海軍はそれには一指も觸れません、支那の逆宣傳に漁船撃沈なんてありますが實に腹が立ちます、ペンを持つため蘇く良民に對しては正義日本東亞の盟主大日本帝國は邪魔さへ致しません、支那側のデマとこの現實を思ひ合はすと憤慨せずに居る日本人が居りませうか、私はこの事實を故郷の方々に知らせ得るのを愉快に存じます

六、海上を往來する船は大部分は英船です、時に怪しい貨物船が通過すると臨檢に出かけます、內火艇を下し、機銃彈藥を積んで波を蹴つて行きます、私は腰にピストルをつけた凛々しい姿に變ります、突進又突進「止れ」と信號兵の合圖で止まります、舷側から跳び上る、船艙の封を切らせ中味を調べる、いろ/\なものを積んでゐますが軍需品でなければ通航を命ずるのです、支那船員達はやつと安心を浮かべて頭をペコ/\下げて行きます、我が海軍の行動に不正はありません、白人の樣な狡猾さの猫もない所に皇軍の眞の姿があります

七、國民の熱誠をこめた慰問袋が屆きます、これが唯一の第一線に居る人々の樂しみなんです、慰問品に慰問文など凡てのものが私達を勵ましてくれます、實に感激で涙がこぼれます、艦內の方は實に親切にして下さるので愉快な月日を送つてゐます、どなたも戰時體制下で皇國のために努力を續けてゐることを思へば第一線に立つ人にも心強く任務につくことが出來ます、そのうち更に本艦は目覺ましき慶節の出來る日のあることを待つてゐます、撫がうなつてなりません、本日は明治節の佳辰に當り艦內一同は大帝の御徳を偲びつつ遙拜式を擧行、全艦擧つて十二分の祝意を表しました

十一月二日 軍艦○○にて 吳墨森

（寫眞は吳氏）



張滿洲國總理帝都入り 治外法權撤廢御禮のため來朝の滿洲國張總理は十日羽田飛行場着帝都入りを爲し旅裝を解く暇もなく關係方面を歷訪した（寫眞は近衞首相訪問の張總理）

伊國代表が反對
宣言案は遂に意見一致せず
十三日 九國條約國會議

【ブラッセル十三日發同盟】九國條約國會議は十三日午前十一時から非公開會議を開き、先づスパーク議長より帝國政府の回答を披露した後、帝國政府の回答を中心に協議を遂げて各國代表の演說あり午後一時一旦散會した、各國代表の演說要旨左の如し

顧維鈞支那代表 事茲に至つた以上、會議參加國が共同して日本に對し道義的、物質的壓迫を加へ日本に對する物資及びクレヂットの供給停止を要求すると同時に、支那を援助せんことを要求する、支那は對日抗戰を續けるためには物資を必要とするのである

デヴィス米代表 九國會議は既に日本の感情を害しないやうに出來るだけの努力を拂つた若し日本が會議の再招請を受諾したならば吾々は日支雙方のため助力し得たと確信する、吾々と協力する途は今でも開かれてゐることを諒解せんことを切望する

デルボス佛代表 日支兩國の關係が速かに正常に復歸することを希望する、これがためには國際法の尊重のみが日支紛爭の永久的解決をなし得る唯一の手段である

イーデン英國代表 吾人は極東の紛爭は日支兩國のみの問題だとする議論には同意出來ない、蓋し生命財產の損失は日支兩國民のみに限定されてゐないからだ、英政府の要望し得るのは國際法の尊重を基礎とする政策のみだ

マレスコッチ伊代表 は日本の立場を擁護し、支那代表の對日經濟壓迫の提案に反對して左の如く述べた
支那代表の提議の如きは絶對に排撃せねばならぬ、吾々は所謂る目的のためにブラッセルに參集せるものでなく、右は全く會議の討議範圍を逸脫してゐる、余は會議が今後如何なる方法に依りこの難局を打開するのか知りたい

最後にソ聯代表ポチョムキン氏は日支紛爭の平和的解決を希望する旨を述べ、斯くて各國代表の演說を終り英、米、佛三國代表は日本の軍事行動の非合法性を指摘し、「この行爲は全世界の非難を買つた」旨を強調した宣言案を提出して一應散會、午後四時再開、日本の立場を支持する演說を開始したがマレスコッチ伊代表が日本の立場を支持して宣言案に反對したため議論沸騰し意見一致に至らず十五日午後四時會議を再開することとし午後七時四十五分散會した

宣言案內容

【ブラッセル十三日發同盟】十三日の九國條約國會議に提出された宣言案の內容は左の如きものと解される
一、今次事變に對する日本政府の見解は世界の大多數國の見解と全く背馳する
一、事變は世界各國に關係あり（戰鬪が第三國に及ぼす影響を例證）日本の行動は九國條約及び不戰條約違反なり
一、會議は日本が排他的態度を緩和せん事を希望する、然らざれば日本の態度に基く結果を檢討せざるを得ないだらう

太倉に突入
城の一角占領

【上海十四日發同盟至急報】我が軍は今朝太倉城に突入し城の一角を占領した

大陸政策轉換
外交消息通の觀測

【ロンドン十三日發本社特電】ハリファックス樞相がいよ/\來週早々伯林を訪問ヒトラー獨總統と會見するとの報道はローマに於けるチアノ外相とパース英國大使、ロンドンに於けるヴァンシッタート外務次官とグランデイ駐英伊太利大使の兩會談と相まち、英政府の獨伊兩國に對する政策の轉換、引いては大陸政策の轉換の前觸れではないかとみられる、英政府がかくの如く獨伊兩國との親善關係に乘り出した理由としてロンドン外交消息通は次の諸點を擧げてゐる
一、スペイン不干涉問題が一段落つきを見せてゐること
一、スペイン革命政府との間に通商關係樹立の見込みが出來たこと
一、日支紛爭の結果極東に於ける英國の權益が大いに脅かされたこと
一、日獨伊防共協定に對する關係は地中海問題を契機として一方英佛兩國間關係は極めて險惡となつてゐることから佛政府も右英獨伊交涉に參加し結局英獨伊を根幹とする西歐ロカルノ協定問題の再提にまで發展するのではないかとの觀測も行はれてゐるが、佛政府が果して獨伊兩國との接近に乘出すか否かは未だ甚だ疑問の餘地があるとされてゐる

金門島住民が自治政府を組織
日支提携を目標に

【基隆電話】十三日午後基隆に達した確實なる筋に齎された情報によれば廈門沖金門島住民は我が海軍上陸以來初めて皇軍の眞價を識るに至り今まで無關心に過ぎてゐた蔣介石政權への反感燃え上り前欽差求の軍閥打破、眞の日支提携を目的として古老を中心に強力完全なる自治政府を組織した、同島に關する情報は極々廈門、漳州方面にも逆宣傳され住民は狼狽し廈門、漳州方面からは早くも避難を開始、既に四千名が香港に向つたが金門島からは一名の避難者もなく唯皇軍の眞意を知らぬ住民が僅か二百名は香港に向つたのみであると

ムッソリーニ伊首相が調停乘出し說
ハバス通信の報道

【ローマ十三日發同盟】ヒトラー獨總統の日支紛爭調停說が傳へられたる折柄ハバス通信社はローマ外交界情報として「ムッソリーニ伊首相は日支紛爭の調停に乘り出す意向」と報道し注意を惹いてゐる

三ケ月ぶりに小學校も開校
校舍校庭に空爆の跡

【上海十三日發本社特電】上海は日一日と明朗化し居留邦人の子供達が待ちに待つた小學校も十一日万國平和記念日を期し再び開校した、八月十三日以來實に三ケ月振りである、盲滅法な敵飛行機の空爆に遭ひ數十發の砲彈を受けた跡が校庭や校舍に殘つて小學生の心を痛々しく刺戟してゐる、今日まで頑張つてゐたのは僅に男女小學生合せて五十人足らずである、毎日午前九時から二時間キチンと時間表を作り授業を始めてゐる、廣い校舍には海軍の兵隊さんがいたいけない兒童達を守つてゐる、校庭に遊ぶ元氣な男の子に聞くと初めの中は隨分怖かつたよ、けどすぐ慣れてしまつたし、それに兵隊さんが來るし、勇しい日本の飛行機がその上を飛んで呉れるからもう何んともないよと元氣に語る、又授業後行非市部小學校長は語る
なるべく早く開校して子供達の教育を遅らせぬよう努めて來た九月二十日頃學校が開けぬならせめて教材でも與へ夫々家庭で勉強して貰ふ考で一週間分づつの課題を總領事館にして父兄に配りました、無敵皇軍の力で戰線も遠方になり上海も明朗化しつつありますので去十一日万國平和記念日に三月振りで開校しました、兒童も懷しがり再起もすつかり忘れ元氣に遊び熱心に授業を受けてゐます

貿易著しく改善
慶賀すべき現象（大藏省發表）

【東京十四日發同盟】大藏省發表昭和十一年中に於ける本邦貿易外收支は經常的收支受取超過一億六千九百餘萬円、差引き支拂ひ超過三千六百餘萬円であつて、これを昭和十年中貿易外收支經常的收支受取超過一億七千八百餘萬円、臨時的收支支拂ひ超過一億七千百餘萬円、差引き支拂ひ超過一億九千二百餘萬円に對比すれば經常的收支に於いては受取り超過額五千四百餘萬円を增加し、臨時的收支に於いては支拂ひ超過額一億一百餘萬円を減少し、通計して支拂ひ超過額の減少一億五千六百餘萬円に達し著しい改善を示してゐる、殊に經常的收支に於いて經常的收入八億八千八百餘萬円にして前年比六千七百五十餘萬円增、經常的支拂ひ六億五千五百二十餘萬円、前年比一千二百八十餘萬円增と收支共に其の額を增加しながら收支尻に於いて著しく受取り超過を增加した事は極めて慶ぶべき現象である

貿易外收支改善の主因
對滿投資の減少

【東京十四日發同盟】昭和十一年の貿易外收支狀態は別項の如く著しく改善されたが貿易外收支の外に貿易を加へた昨年に於ける我が國際收支を見るに、貨物貿易入超一億二千七万円餘、金銀出超二千八百四十六万円餘であるから結局一億二千八百十餘万円の支拂ひ超過に終つた、貿易外收支の好調は海運保險などの經常收入增加にも依るが改善の主因は對滿投資の減少に依るものであつて昭和十年の二億五千万円に對し昭和十一年は一億七千万円と八千万円を減少すると共に昭和十年に於ける滿鐵英貨債六千万円償還の如き臨時的支拂ひが全くなかつた爲めである

中野正剛氏 基隆に寄港

來る十七日基隆着の歐洲航路船日山丸には、歐洲へ使ひする中野正剛氏及び前の督府外事課長で目下駐伊大使館へ赴任する坂本龍起氏並に家族も乘船し居る由、同船は朝基隆入港、正午出帆の筈

敵の負傷兵を病院に見舞ふ
情けある山澤部隊長

【上海十三日發本社特電】十二日の朝敵前に二千の敵を殪した山澤部隊長は十二日午後一時北停車場郊外にある米獨佛支共同經營の赤十字上海醫療救院を訪れ同院に收容されてゐる支那の負傷兵を見舞つた、數名の部下に美しい菊の花束を持たせ部隊長が病院を訪れ日本は東洋平和の爲め正義の軍を起し我に抵抗する敵は悉く之を殪すが良民には絶對に危害を加へない、支那兵と雖も負傷者には十分手當して欲しいと述べた、各國醫師達も大いに感激し獨逸人醫師は片言の日本語で「アリガト」と謝意を表した

三輪參謀長出北

三輪馬公要港部參謀長は十一日出北、總督府で開催された中央防空委員會に出席の上十四日午前八時十五分台北驛發歸任した

その日その日

○蔣介石の"浙江死守"は彼の郷里が浙江省なるが故か、それとも浙江の南、福建が氣になる爲か
○今に及んで何の"死守"ぞ、大勢すでに定まつてゐることを、同情し得ぬ者の悲哀よ
○嘉定、太倉の次は崑山、蘇州といふ順序、更に長驅南京を衝く譯、國府の運命や日に縮まる
○"西安の空襲"は、國民の頭にもピンと來る、赤の前衞基地だけに陝西の壞滅の痛快味も一しほ
○あの手この手の九國條約國會議も風向き面白からず、機を見るに敏な英國、早速舞臺を探り出すソレが、獨伊への接近策、鬼面で脅かし得ぬものには媚態、まるでナニかのやうだ
○苦樂を共にしてこそ夫婦の情合も濃くなる、戰場で共に死線を越えて內台人の氣分も合流

人事

▲川村直岡氏（新竹州知事）十四日朝來北（鐵道ホテル）十五日午前の急行にて赴任の筈
▲森田俊介氏（新竹州內務部長）十四日夜來北（朝陽號）
▲加藤宗藏氏（基隆商工會議所）五日高砂丸にて歸臺
▲岡本幸生氏（總督府技師）四日來北（日の丸館）
▲林茂秀中佐（前澎湖要塞參謀）五日高砂丸で赴任

無絃琴

台北市の市民葬は十六日に台南市の分は十五日に夫々莊嚴裡に執行されることになつたが、台北市などでは當日市會議員が市吏員と共に手分けして自動車でお骨を迎へに行き、遺族と共に齋場に出向くといふ事にした外、市役所、市會議員、市軍人後援會などの團體が一緒となつて殉國の烈士に對し最高級の禮を盡すべく意氣込んでゐる▲官衙や銀行會社や諸團體及び個人等でも花輪や供物を供へたいとの希望者が殺到してゐる樣だが、何せ齋場に限りがあるので一々之を受ける事は事實上困難といふので、台北市では軍人後援會理事會の決定を經て、花輪及び供物の數を制限し、それ以外の志ある方面にはお斷りする事としたさうだ、然し何としても氣が濟まぬとか或は特殊關係が有る樣な向は祭祀料として……といふ風な意向であるが、然うすれば右の祭祀料は遺族の許へ屆ける術もあるのだといふ▲兎に角、市民葬は即ち市民葬であり（同種の公葬は街や庄でも行はれる筈であらうが）國家國民のために身を殉じた軍國殉烈の士を祭る"最後の營み"である、意義ある市民葬たらしめたい、だから、出來るだけ至誠の籠る

浮標のごとき女 (137)
尾崎士郎 作
梁川剛一 畫

悲しき人々（六）

斯々に彩る街の風景や、兩側を通る異樣な服裝をした男女の群に見とれてゐるうちに三重子は俥屋の俥を忘れてしまつたのである。
氣がついたときには自分の俥の前に一台の俥が走つてはゐたが、しかし同じやうな洋服を着てゐてもそれが俥屋でないことは一見してわかるのである。
困つた――と思ひながら、氣がついたとたんに、
「一寸待つて」
慌てて呼びかけたが、その言葉も俥屋には通じないらしい。振り向かうともしないで先へ行く俥を目當に驅けてゆくのである。このあたりへくると、歩いてゐるのは外國人だけで日本人の姿は一人も見えなかつた。
とう/\廣い四ツ辻まで來たところで三重子は大聲で喚きたてた。
「おろして――ねえ、降ろして」
チョッピイ（邦皮）の車夫もやつと彼女が呼びかけてゐる聲に氣がついたらしい。きよとんとした顔をあげて早口に何かしやべつてゐる樣子だつたが、何を言つてゐるのか三重子には通じなかつた。
やつと手眞似で降りたいといふ意思表示をしてみせると「ああさうか」と漸く納得したやうな顔をして梶棒をおろしたのである。
しかし、俥を降りたもののどうしていいか判らなかつた。ぼんやり立つてゐると俥屋は賃銀を請求するのであらう。車夫はすつかり對手を見くびつた態度で何かしきりにしやべりながら手を差しのべるのであつた。
今まで感じなかつた不安が急に彼女の胸にこみ上げてきた。そこで蟇口を出して五十錢銀貨を一枚渡すと、彼はじろりとあたりを見廻してから不意にいきりたつた聲で叫び出した。
すると何處から出てきたのか支那人の群が彼女をとりまいて面白さうに騒いでゐる。不安と恐怖とがいつしよになつて全身がかつ/\と震へだした。慌てて蟇口を開いてもう一枚の銀貨を取出さうとした時、不意にうしろから一つの顔が覗きこんだ。
「どうかなすつたんですか?」
びくつとして振りかへると帽子を被らないで長髪を片手でかきあげながら一人の青年が心配さうな顔をしてすぐ後ろに立つてゐた。
――日本人だ、と判ると三重子はやつと救はれたといふ思ひで、早口にさつきまでの經緯を說明した。
「ほんとに何うしたんでございませう。氣がついてみるとさうゐないんですもの」
「さういふことはよくありますがね、しかし妙な場所で、困つたですね。だが、困つたですな、ホテルがわからないのは」
彼が車夫の方をむいて大きな聲で怒鳴りつけると車夫はそのままぶつぶつつぶやきながら歸つていつた。
「とにかく――からなすつちあどうです、僕はこのすぐ先の英租界の曲り角にある大陸公寓といふアパートで自炊をしてゐるんですが、もしよかつたらそこでいらつしやいませんか、電話で日本租界にある旅館を一つ一つ聞いてみたら何とか判るでせう」
「ええ」
と三重子は飛び立つやうな思ひで答へた。
「さうして頂ければ有難いと思ひますが」
「ぢやあ」
青年は屈託のない聲でいつてから先に立つて歩きだした。よれよれの洋服を着て帽子も被つてゐない彼の姿は一見しただけでルンペンか放浪者か――それでなくとも一定の職業についてゐない人間であることはすぐわかるのであつたが、しかし、何處か男性的な言ひ方が彼女をすつかり安心させたのである。
「でも御面でよかつたですわ」
二、三町行つた所で青年は一つの路地を指さして立ち止まつた。
「此處です」

臺灣日日新報
日本夕刊共十二頁
發行兼編輯人　佐々木　　發行所　臺北市榮町四丁目卅貳番地　臺灣日日新報社

敵前上陸敢行
我が强力な兵團
揚子江岸白茆口に

【上海十四日發同盟至急報】上海軍正午發表　我が强力なる兵團は十三日海軍の密接なる協力の下に遠く敵の背後たる白茆口附近に敵前上陸を決行し多大なる成功を收め直ちに西南方に進擊を開始し行く行く敵の抵抗を擊破し十四日朝支塘鎭を占領し續いて敗退する敵を急追中

上陸を掩護

【上海十四日發同盟】陸海軍部十四日正午發表　わが海軍〇〇部隊は陸軍大兵團を護衛して十一月十三日早朝揚子江上流遠く敵の背後を衝き全力を擧げて陸軍部隊の上陸を掩護し所期の目的を達成せり

崑山の敵動搖
新舊部隊の重壓で

【上海十四日發同盟】上海戰線に敗れ去つた敵が首都南京防衛戰の第一線として死守を決意してゐる崑山は京滬鐵道の要點であり守備陣地構成のためには極めて地の利に惠まれたところで小高い山を中心に西側、南側に無數の湖を擁し背後に大海の如き太湖を控へて西、北、南の三方を水に依つて遮斷された形となつてゐる、從つて此崑山を守るには文字通りの背水の陣を布き全滅の覺悟を必要とするわが揚子江新上陸部隊の側背の脅威と決河の勢ひを以て東より迫るわが軍新舊部隊の重壓に依り南翔、嘉定、太倉の守りが脆くも敗れ去つた今日敵軍の戰意喪失は顯著なるものあり、果して孤立の崑山を幾日支へ得るや極めて疑問とされる所で退路遮斷を恐れる同所の敵は戰はずして早くも大動搖の色を示してゐる

我が新鋭部隊
崑山城に肉薄す
背腹に重壓を受け敵は混亂

【西周にて同盟特派員十四日發同盟至急報】十三日早朝揚子江上流白茆口の敵前上陸に際してこれを阻止せんとする敵大部隊を忽ちにして粉碎した新鋭部隊は一氣に西周を拔き前進又前進二十粁の强行軍を以て支塘鎭に迫りこれも拂曉戰を以て十四日早朝難なくこれを占據、更に進軍を續け早くも常熟、崑山間の敵の連絡遮斷は目睫に迫つた

【上海十四日發同盟】揚子江上陸新鋭部隊は敵前上陸に見事成功を收めた後、逐次戰果を擴張して敵の背後に迫りつゝあり、これがため崑山、太倉の敵は背腹に重壓を蒙ることになり大混亂に陷つてゐる

【安亭鎭十四日發同盟特派員】岡本、長谷川、神田の諸部隊は十四日朝より全力を擧げて崑山攻略を續行し遂に正午頃崑山城に肉薄し市街の外廓を挾んで激戰中である

敵兵六萬風前の燈
三方より包圍されて

【安亭鎭十四日發同盟】崑山方面よりするわが〇〇、〇〇部隊、太倉方面よりする〇〇、〇〇部隊及び白茆口に上陸以來一路南下しつゝある〇〇部隊の三方面よりするわが軍の猛攻に常熟、太倉、崑山一帶約六萬の敵は既に全く潰亂狀態に陷り右往左往陣列を亂して潰走しつゝある、太倉、常熟を連ねる道路上の約一萬、崑山より蘇州に通ずる道路上の約一萬も無統制の儘大擧遁走を續け、又大運河上を船を驅つて南走するものも數千に達してゐるがこれ等の支那兵に對しては目下空中より殆んど連續爆擊を加へつゝあり、又三方面よりするわが大軍の包圍陣は着々完成に近づき袋の鼠となつた敵兵六萬の大殲滅戰は今明日に迫つた

敵軍を包圍

【上海十四日發同盟】上海軍十四日午後零時十分發表　南翔攻略後西方及び西北方に前進を開始せるわが軍は所在の敵の抵抗を擊破しつゝ急追又急追十三日朝に至り嘉定を攻略し各兵團の第一線劉河鎭、揚家角その西方外岡鎭、滬寧線上天福菴附近及びその西方地區にも進出し續いて當面の敵を太倉、崑山方面に追擊中なり、折柄十三日早朝敵軍の背後たる常熟東北方白茆口附近に上陸せる有力なる兵團はその戰果を逐次南方に擴張し南北相呼應して敵を崑山附近に捕捉して大包圍殲滅戰を完成せんとせり

海軍航空隊 盛んに活躍

【上海十四日發同盟】陸海軍部十四日午後二時發表
一、海軍航空部隊は崑山方面より蘇州方面に遁走する敵の密集部隊に對し昨夜來、月明に乘じて機銃掃射を反復するとともに蘇州附近の橋梁、鐵道等を爆破して其退路を斷ち一擧に殲滅的打擊を與へつゝあり
一、又大部は擧げて陸軍の敵前上陸部隊及び松江方面部隊の前進を掩護しその正面の敵を爆擊中なり

敵の連絡遮斷
要地平望鎭が陷落

【〇〇十四日發同盟】我が岡本部隊の占領せる平望鎭は嘉興及杭州方面より蘇州に至る重要據點にして西方は有名な太湖東方は大小の湖沼散在する水郷地帶の隘路に位置しをり同地の占領は蘇州及び嘉興に在る敵の側面を脅かすと共に蘇州方面よりする杭州、嘉興方面の支那軍の連絡を遮斷し其の死命を制する事となり軍事上測り知れぬ重大利益を齎すものである

潰走兵を猛襲

【上海十四日發同盟】上海軍十四日午後一時發表　南翔占領後北進せる安達、和知等の各部隊は十三日朝外岡鎭を陷れ急追戰を太倉に壓迫夜に入るも攻擊の手を緩めず今暁五時三十分遂に太倉を攻略し次いで潰走する敵を西北方に急追中なり

敵を猛攻中

【上海十四日發同盟】上海軍十四日午後一時二十分發表　崑山方面に急追中なりし岡本、長谷川、神田等の各部隊は猪木、宮十村、中村等の各部隊と協力昨夕既に崑山南方四料附近を攻略其の西側大クリークを渡河し崑山の敵を猛攻中

浙江を死守 蔣介石が嚴命

【上海十三日發同盟】確かな筋の消息に據れば蔣介石は十一日夜嘉興外高級幹部を會同、杭州に急行十二日張發奎、劉建緒等の各將領を介して浙江防守の新作戰方針を決定、十二日嘉興方面の新陣地防禦施設を視察し各師、旅長に浙江死守を嚴命した後十三日未明蘇州に引返した、支那側は滬杭甬線方面の戰線以東は瀕死、退却兵の陣容建直しに狂奔してゐる

七度も逆襲 遂に總崩れ 北橋鎭の戰鬪

【北橋鎭十三日發本社特電】松江一番乘の山際部隊は松江街道を東進、十一日午後上海南七里の要衝北橋鎭を占領した、然るに退路を絶たれ死物狂ひになつた支那兵五千が十二日午前三時西南方から反擊して來た、大勢を頼む敵は追擊砲の集中射擊を行ひ陣を見ては岸を嚙む荒波のやうに押寄せ押寄せ來る敵彈は〇〇の窓ガラスを破つて部屋の中までバラバラと飛込み敵の手榴彈は目を驚くほど近くで炸裂する、彼我の距離十五米近い所は僅々一間か過ぎ、闇の中で死鬪が續いた、我が軍威も猛烈に火を吐き續ける、銃身は眞赤に燒けん許りの射擊だ、軍刀を右手に拳銃を左手に引ツ摑んだ山際部隊長は「一兵の敵も餘すな」と聲を嗄らして指揮すれば岡谷大尉は左足を射貫れながら一歩も退かず「射て、射て」と大聲叱咤する、だが意外に頑强な敵は夜が明けるまで退却の色もなく七度に亘つて逆襲を企てたが午前九時遂に總崩れとなり敵の主力は二千の死體を遺棄して退却を開始し我より十米前の塹壕の中の逃げ遅れた百五十名は白旗を掲げて降伏した、斯くて血戰死鬪五時間、凱歌は遂に山際部隊に擧つた、我が將兵の萬歳の聲は朝の大氣を震はせ附近は道路と言はず敵兵壕と言はずクリークの中まで敵兵の死體で充滿してゐるがこれに較べ我が損害は死傷僅か十七名に過ぎず、上海戰史に輝く偉功を樹てた

降服一萬に達せん

（〇〇十四日發同盟）杭州灣上陸部隊の一部は上海、松江を繋ぐ線と黃浦江の彎曲線で形成された三角地帶內の殘敵を掃蕩すべく山田部隊は北橋鎭に進出し、他の一部は閔行鎭上海方面に向つたがこの三角地帶內に散在せる殘敵は退路を斷たれ意氣沮喪し戰意全くなく續々投降しつゝありその數は十二日一千餘、十三日三千の多きに達した、尚引續き投降者續出し恐らく一萬の多數に上らん

太倉を占領
三方から包圍

【上海十三日發同盟】十三日朝嘉定を攻略した我が〇〇、〇〇、〇〇の各部隊は破竹の勢ひを以て追擊前進を續け既に其の先鋒は十三日夜半嘉定、太倉街道上の要害葛隆鎭を占據し北、東、南の三方面より太倉縣城を包圍し命令を待つて攻擊に移り遂に太倉縣城の一角を占據するに至つた

【上海十四日發同盟至急報】太倉は我安達、和知兩部隊によつて十四日午前五時三十分之を占領した

蘇州に猛進中

【上海十四日發同盟至急報】上海軍十四日午後一時三十五分發表　既に青浦を占領せる岡本部隊は工兵部隊と協力の下に舟、筏の利用に依り水路作戰を敢行しクリークの澱河澱山湖の横斷に依り十四日早朝早くも平望鎭に達し蘇州より嘉興に通ずる鐵路を中斷し更に蘇州に向ひ猛擊中にして其の先頭部隊は午前十時三十分金家港に達せり

共產黨の害毒
默過する能はず
閻錫山らが連名通電

【東京十四日發同盟】中國共產黨は蔣介石以下國民政府最高首腦部を抑へ巧に國共合作に成功するや對日交戰の强化を煽り今次全面的日支衝突の重大な誘因を作つたが最近の支那側敗退に直面し國民政府部內にすら赤化分子に對する怨嗟の聲漸く增大せんとしつゝあり特に地方將領は時局解決の先決要件として共產黨の徹底的排除を期し去る十月十六日附閻錫山其他十六名の將領が連名を以て國民政府及び全國各機關に大要左の如き通電を發した旨十三日確實な筋へ入電があつた

日支紛爭當初日支双方は不擴大主義を宣言し以て和平解決を圖らんとしたが北支では共產黨の部下等が共產黨に使嗾されて事態を擴大し更に今や中外に鴉し上海でも共產黨の策動に基く擾亂の事なければ現在の如く列國の同情を失ふ事はなかつただらう若し中國にしてこの一戰に破れば共產黨は西北に逃亡し責任を國軍に負はせんとしてある吾々は眼前の共產黨の害毒を見て默す能はず敢へて內面を暴露し以て軍政長官の諒恕方を偏に願ふ

エ・ソ聯公使 逮捕されたか

【ヘルシンキ（フインランド）十三日發本社特電】ドイツ、トルコ、ポーランド駐劄の各ソ聯大使の逮捕說が傳へられる折ヘルシンキ駐劄ソ聯公使エリック・アルムス氏は五日突如歸還命令を受け歸國したまゝ歸任せずその後音沙汰ないので本國に於て逮捕されたのではないかと見られる

陳公博羅馬到着

【ローマ十三日發本社特電】前南京政府實業部長陳公博は十三日ローマに到着したムツソリニ首相及チアノ外相を訪問すると見られるが今首相の日支調停說傳へられる折柄の訪問は注目されてゐる

伍堂國民使節 獨大使と會見

【ロンドン十三日發同盟】國民使節伍堂卓雄氏はドイツへの途十三日午前十時三十分ドイツ大使館に防共協定の立役者リツベントロツプ大使を訪問、大使は病氣で引籠中であつたが押して會見一時間餘に亘り日獨伊防共協定の强化に關し、大使最近のローマ訪問を中心に懇談した、伍堂使節は十四日夜ドイツに向ふ豫定である

九國條約國會議も
結局は徒勞
日本の意向を尊重して米國が
條約改訂會議に改稱か

【ワシントン十三日發同盟】ワシントン外交界は十三日の九國會議に於ける米國代表デヴィス氏の演說が日本政府が二回に亘り會議參加を拒絕したにも拘らず飽くまで妥協的であつた點に注意を拂つてをり殊にデヴィス代表が米國は平和的手段に依る限り九國條約の改訂を考慮する用意ある旨暗に示唆した事は頗る意味深長であると見てゐる、右に關する外交界の見解を綜合すれば次の通りである

九國條約國會議が日本の參加を確保する事になれば日本が會議に協力する技術的な方法が提供されよう即ち會議を日支紛爭調停の爲めとせず條約改訂會議とすれば日本政府も面目を失はずして協議に參加し得るであらうデヴィス代表は平和的手段に依らぬ限り條約改訂には飽くまで反對であると云つてをり從つて米國は日本の支那に於ける武力侵略は容認しないであらうが日本自身も支那の領土權は侵犯せずと屢々言明してゐるのだから共通的な協議方針を定め九國條約の根本原則に反せず而も日本を滿足させ得るやうな解決案を得る事は必らずしも困難ではあるまい

人事

▲榎本中尉氏（京大教授）十五日高砂丸にて歸京
▲太田政廣氏（總督府通信部長）十四日來北（日之丸館）
▲外山賞吉氏（高雄州勸業課取締役）十四日來北（日之丸館）十五日內地へ
▲北川利一氏（株の會社木商店取締役）十四日南部へ
▲杉本三郎氏（總督府交通局道路港灣課）十三日夜行にて高雄へ
▲佃叢三氏（總督府會計課長）奈島一周十四日東部より來北（日之丸館）

天無口

いまさら白々し過ぎる感はあるが、上海に於ける英、佛側でも、頻りに我方に協力するかの如き姿勢に出て來たやうだ、英の樞相ハリファックス卿がベルリンを訪問して獨、伊との接近策を講じようといふのも、ありさうな話で、この辺から日本に對する照れかくし策でもさうな節もある▲尤も上海でも從來、共產黨狩りには佛租界も共同租界とともに協力して來たもので、昨年の"七君子"逮捕の如きその例である、此の七君子と言ふのは少々人を喰つた名前であるが救國文夫人宋慶齡の操縦するところ▲沈鈞儒、章乃器、王造時、鄒韜奮、それに女ながら强か者の史良など云つた、いづれ劣らぬカチカチの赤化分子で、併せて救國會など抗日團體の指導者でもあつた、それが昨年の十一月蔣介石は蘇州の監獄にブチ込んだもので、當時宋慶齡が自ら裁判所に出かけて"同志を無罪にして呉れねば此處を動かぬ"と駄々を捏ねた事は有名な話だ▲併しこれは共產黨であつたからのことで、對日關係の事だけになると英、佛などはさうは行かぬ、排日抗日の策源中心地が佛租界、共同租界あたりであつた事は餘りにも知れ過ぎてゐる▲これ等の現前の事實に對して去日松井最高指揮官が外人記者團との會見で『斯の如き事が續けば租界と雖も考慮せねばならぬ』と斷乎として言ひ放つてゐるのは天晴れで、彼等も大に反省すべき點である、その時季であらう、何國たるを問はず反日的なる策謀に與みし、これを援けるものは、これ又我等の敵として斷乎排擊すべきだらう。

滿洲重工業
計畫資金三十億
自動車飛行機工場に十億

【新京十四日發本社特電】鮎川日產社長は來京以來關東軍及び滿洲國各特殊會社代表と連日會見し滿洲重工業會社設立に伴ふ具體的細目につき折衝してゐたが同社の產業開發五ヶ年計畫の中心目標は目下時局の重大性に鑑み自動車及飛行機工業の急速擴充を實現するにあり、近く同社に自動車並に飛行機製作の一大重工業を設立するに意見の一致を見た模樣である、即ち右計畫は目下自動車五万台、飛行機一万台の生產を能力とし之等を完遂する方針の下に計畫されつゝある所謂滿洲產業開發五ヶ年計畫の根本的改變を免れぬものと見られ、而して右計畫の所要資金は（單位億圓）

一、鐵工業　一〇
一、航空自動車工業　一〇
一、石炭　五
一、鉱業其の他　五

で合計三十億圓の巨額に上るが、內二十億圓はフオードその他アメリカ資本家の融資に仰ぎ殘り十億圓を滿洲國側で負擔する方針の模樣である、尚鮎川氏は十四日午前七時發空路東京へ歸還した

滿洲重工業の 昭和製鋼併合案

【新京十四日發同盟】滿洲重工業會社設立に伴ふ滿洲國特殊會社の處置については十三日關東軍を始め關係者の協議の結果左の如く決定した
一、滿鐵の昭和製鋼所持株はその半數を政府に移讓し滿洲國政府はこれを滿洲重工業會社に出資す
一、昭和製鋼所は重工業會社に引繼ぐ

會計
日本會計學會編纂　第四拾壹卷第五號　十一月號
◎收用補償價額算定に關する規定……佐藤
◎組合事業の中途出資金と其會計上の取扱……西村
◎ヒユーグリ簿記體系と簿記形式……山下
◎減價償却……田川
◎我税務上の「所謂必要經費」に就て……田中
◎公社債の利子及利益配當金と課税問題……鎌田
◎退職積立金及退職手當法解說の誤解……元吉
◎江戶時代に於ける織物問屋の帳簿……大谷
◎軍用機獻納運動の會計……黑澤
◎カルテル法の國際的展望……津田
◎貨幣價値と比較貸借對照表……小笠原
定價五拾錢　東京市神田區　森山書店

最新刊
經營技術學と經營經濟學
名古屋高等商業學校教授　酒井正三郎著
森山書店

商工經濟　十一月號　第四卷第五號
東京商工會議所編輯
◇統制經濟機構論
◇現下の海運政策
◇時局下の工業政策
◇統制經濟の强化と擧國一致の態勢
◇獨乙經濟團體の有機的構成
◇木場に於ける木材取引の慣習
◇貿易に表はれた支那經濟社會の特殊性
◇最近に於けるソ聯邦外國貿易の特徵
◇支那事變の商業への影響
◇財界展望　▲概觀▲金融▲商況
定價三十錢
發兌　東京神田小川町ビル　森山書店　振替東京三一九一九番　電話神田三〇八〇番

同文館新刊
倉庫研究（1）
向井梅次監修・倉庫研究會編
菊判一七〇頁　價一・〇〇
向井梅次著　最近倉庫概論　配給問題概論

綜合工業概論
松岡久雄著
菊判二三〇頁　價一・八〇

實務家必讀
工業會計實務誌
實用工業簿記の知識
決算報告書の分析的研究

世界の米

全世界の生産は七億石程度

爪哇では毎月播いて毎月收穫 日本の產額第三位

米穀局では、世界各國に於ける米の產額及びその輸出状況に就いて調査中であつたが、この程これを取纏めるところあつた、右によれば、昭和四年乃至八年平均における

米の產額は 總額七億万石と推定され、これを國別に見れば、支那の二億九千七百万石を第一に、英領印度の二億一千五百万石がこれに次ぎ、第三位が我が國の八千二百万石（朝鮮、臺灣を含む）で爪哇及びマヅラの二千五百万石、佛領印度支那の二千四百万石、シャムの一千九百万石と云ふ順である、次に米の輸出額を見ると

全世界總額 で四千五百万石に上り第一の輸出國は英領印度の一千五百万石、第二位はシャムの九百万石、佛領印度の八百万石、香港の五百万石の順で、輸入に於ては總額四千二百万石の内、二千八百万石は亞細亞各國で占めてゐるが、就中、支那の七百万石、香港の六百万石、英領馬來の五百万石、蘭領印度の四百万石と云ふ順位である

以上米產國 は何れも播種收穫を異にしてゐるが、英領印度の一般米は、夏、秋、冬の三期に分れ、夏米は二、三月播種して五、六月に收穫され、秋米は五、六月播種して九月に收穫、冬米は五月から八月に播種して十二月から翌年一月に收穫するが、佛領米は四期に分れ、冬米は十二月から一月に播種して五月收穫、春米は二月播種の六月收穫、夏米は四、五月播種して七、八月收穫、秋米は六、七月播種して十二月から一月に收穫する、次に蘭領印度の爪哇米は東爪哇米と西爪哇米に分れ、前者は夏米、秋米、後者は早稲、晩稲に分れ、早稲は六、七月播種して十二月收穫、中稲は七、八月播種して翌年一、二月收穫、晩稲は八、九月播種して翌年三、四月に收穫する

シャム米は 最早生、早生、中生、晩生に分れ、最早生の五月播を除くと他は何れも六、七月に播種し、十一月から翌年二月迄に收穫するが、この收穫期の相異によつて早中晩に分れる、爪哇は一箇所の作付季節を異にして毎月播種するが、最も多いのは一、二月播種で收穫も毎月行はれるが五月收穫が最も多い、又ブラジルでサンパウロ州の高原地では十月、海岸地方は九月十月に播き、何れも一月上旬に收穫するものである、希臘、伊太利、埃及の作期は大體日本内地と大差なく、合衆國では三月中旬から五月中旬に播種して八月から十月にかけて收穫するものである

北支電工増資 近く十倍の五千萬圓に

【東京十四日發同盟】第一次電力開發の北支における電力事業投資會社たる北支電力興業會社では北支電力開發のため二年乃至三年の間に約五千万円の資金を必要とするので近く十倍の五千万円に増資する筈

石灰窒素は島内の資源で出來る

硫安に比し有力な強味 但し石灰山の確保を要す

臺灣肥料の常務取締役日比勝治氏は去十一日來臺、十八日歸京の豫定であるが、來臺の用向きに關聯して硫安と石灰窒素につき次の如く語つた

今次事變の為めに我が國肥料界の情勢に相當變化を來され、肥料製造業者もそれに對應して製造方針の樹立しをせなければならぬ必要に迫られてゐる、即ち現在

窒素肥料を 大別すると硫安と石灰窒素であり、外に豆粕其他の窒素肥料もあるが年々著しく發展しつゝあるのは右の二つであり中にも硫安はアンモニアと硫酸の化合で出來窒素分二十%強、石灰窒素はコークスと石灰石と電氣とで出來るのである、窒素分は硫安に劣らず最高二十三、四%に及び普通二十%を下らぬ、内地の需用硫安百二十万噸、石灰窒素三十万噸に上り

就中硫安は 一部外國から輸入されてゐるが、石灰窒素は全部國産であり國内の原料で出來るところに特長があり、曾て肥效分に富むのみならず殺菌の效能を具有しマイルス病や十二指腸虫其他の害虫を驅除する効能があり、農林省でも充分それを認めてゐるに至つた、臺灣では古くから農家が硫安を使ひ慣れてゐる、硫安は白くて砂糖のやうに綺麗であり、取扱ひも便利である、之に引替へ石灰窒素は灰色を帶びた粉で水氣を忌み使用上六つかしい點があり撒き方に呼吸があつてそれを吞込まねと使ひにくいといふので硫安の方が何うも飛付き易いのであるが、一旦使ひ方さへ吞み込めば施用に些の支障なく肥效は前述の通りで經濟だし

國産で賄ひ 得る所に強味もあるやうな次第だ、硫安を製造するには硫酸が要る、時局の硫安需要二十四万噸の硫酸がいる、然るに硫酸は人絹其他化學工業の發展に連れ需要激増して價格騰貴し硫安、過燐酸の製造業者は皆困つてゐる、然るに石灰窒素は原料が内地に豊富でもあり電氣にもあるから需要がふえても外國に仰ぐ必要もない、併し作業に水稻作に施用して顯著な實績を舉げ此の方面の石灰窒素施用者は益々増加する一方で

朝鮮の如き は元石灰窒素を少しも使はなかつたにも拘はらず今は非常に増加し年に五万五千噸を使ふやうになり、干拓には石灰窒素でなければならぬ事態にまで進んでゐる、臺灣でも……

（以下略）船腹不足を來したことは石灰窒素製造に影響し九州からの石灰石移入に支障を來してゐる際故に石灰石があるとは云へまだ手が着いてゐない、九州から石灰石が來ぬやうだと甚だ臺灣の工場を休轉せなければならぬ、今度我が來臺したのは之が對策を講ずる為めであつて九州からの石灰石に代ふるに臺灣の石灰石で間に合ふやうなら之に替へたいと考へてゐる、要するに臺灣でつかふ石灰窒素が島内の資源で充分出來るやうにならなければならぬ、否必ずさうなるものと確信する、それには何を措いても先づ石灰山を確保することが必要である

鉛は益々奔騰

水道用の鉛管不足す

金屬類の内近頃益々高くなつて行くのは鉛で一時百キロ六十円臺であつたものが昨今八十四、五円を唱へ昨年末に比し殆んど二倍になつてゐる、之は大部分濠洲を始め印度其他の外國に仰いでゐるので為替管理の關係上輸入を抑制されてゐるのと一方事變の為め軍需方面に需要もあり旁々品缺乏を告げるに至つたものである、臺北では先般市役所の水道用材として購買入札があり一キロ六十錢で高値で落札したが、其後の注文には品缺之と暴騰で應ぜられぬといふ有様で鉛管を使用する水道其他の工事に支障を來し一般に困惑してゐる有様である

苧麻は沸騰

支那麻杜絶の爲

一ケ年間に二千四五百万斤の苧麻が支那から我が國へ輸入されてゐたが、事變後は輸入の途が杜絶されたる結果盛んに臺灣の苧麻を買付けてゐる、臺灣の主産地宜蘭、羅東新竹及び花蓮地に家庭的の栽培地が多いと云はれてゐる

丸糯戰線に一異變來る

例年の今頃は十二月物の丸糯先約は最早相當數に上り正市も韋々しい丸糯戰が展開されてゐるが、本年は石拔檢査と船運賃引上げの問題が横はりおまけに時局の見透しが付兼ねるので内地筋は出廻り期近の安いところを狙つてゐるし、併し仲移出商は寧ろ手持の前渡し危險を冒して先約は手控へ結局中國の小口物のみである、最近は供給續きで出廻りが日増しに多く毎日二千俵袋の米が基隆に到着し在庫は一万二千俵袋に達した、地場は弱氣の向が多く十一月八日の惡天候を入れて期近の十二円四十二錢迄跌ね返したのが戻り頭となつて間もなく天候回復にヂリ貧商狀を辿り十四日は十二月十日限十二円十一、二錢と頑らない眼着相場を示してゐる、併し此の限の取組は四百四十二車の多數に達し大手の移出商が買操つてゐるから、當限納標近につれ買操が起つたら一時に買つて來ると共に期限上げとなるから餘り調子に乘つて深追することは危い一旦天候が崩れたら大波瀾を捲起す危險性が多いと云はれてゐる

新竹の二期米豊收

蓬萊二割、丸糯三割增 新嘗祭當日豊年感謝祭

【新竹電話】新竹州下の二期作米は州當局にて積極的に耕種法の改良を奬勵して來た為め例年の季節風による被害を免れ今や大牟は收穫を了へ蓬萊米は約二割丸糯米は約三割の増收と見られ今年一期作米の減收で悲觀をあげて居た農家の喜び方は想像に餘りあり州では來る二十三日の新嘗祭を卜し新竹神社に於て豊年感謝祭を執行する事となつた右につき州勸業課長今川氏は語る

本年の一期作は開花期に風なく早魃も免かれ害蟲又發生せず秕も少なかつた為め増收したもの

蕉實移輸出高

十月中のバナナ移輸出數量は十九万四千四百卅二籠にして前年同月に比し五万一千八百八十八籠を減じてゐる仕向地別にすれば次の通りである

仕向地	數量	仕向地	數量
門司	四五、三六八	下關	三二、九三八
大阪	三〇、九〇八	京都	五、〇七〇
横濱	五、九三八	東京	四一、〇〇〇
清津	一〇	大連	三九九
新京	三〇〇	四平街	一〇
長崎	六、〇〇〇	神戸	三、〇四六
名古屋	一六、二六	金澤	二七、八一八
函館	五四八	小樽	四四〇
奉天	一〇〇	天津	二〇〇

時の問題

注目を集める増税案の行方

戰時經濟の動向指示

本事變の増加して行くに連れ増税は避け難いことだらうと、財界一般としてもその必然性を信じまたそれに對し相當の覺悟の臍を固めて來たのに、税制調査委員會には、いろ〳〵な異論があるらしい。

〇……〇

中央地方を通じ、負擔の公平を期するといふ税制整理は、十三年度に於ては、その一部が實行されただけで全面的増税は一ケ年間延期されたのであるから、十三年度にかけては、當然それが具體化されねばならぬ筈だつたのに、支那事變が起り、しかもそれは今何時進行中である所から「戰爭の成行如何に依つては税の程度範圍も違つて來るので、戰爭の見透しのつくまで更に延期してはどうだ」といふ議論が大勢を制さうとしてゐる。たしかにそれは一面の議論である。併し、戰爭に依つて増税の必然性を更に加した理由をも無視することは出來ないだらう。

〇……〇

二十五億円といふ厖大な軍事費が既に支拂はれつゝある。それは「一月一杯」とか、「一月一杯」とか云はれて居る。やがて冬の議會開會と共に今度の支那事變の追加が當然要求されなければならぬだらう、それも全部を公債支弁で賄ふことのかどうか、公債の消化が果して完全に出來るかどうか、公債支弁の關係上議會の審議と共にインフレを伴はなければならぬ。はじめて軍事から公債の消化能といふ事情に大衆の消化能力が既に問題となつてゐる今日此上、尨大な公債發行を餘儀なくさせるならば、時にその消化難と共に惡性インフレを伴はなければならぬ。それを多少とも緩和しようといふならば増税に依り今後の公債發行を成るべく少くするより外ない。

〇……〇

しかも今度の事變に依つて、軍需關係の工業は勘からず惠まれて居る。ただでさへ過去數箇年來の國防政策の膨脹で、軍需工業の一角には好景氣らしい現象が現はれ、所謂「跛行景氣」「局部景氣」を謳はれて來たものである。その上に今度の支那事變である。軍事費の拍車が掛けられなければならぬ。ところがその一方、軍需工業以外の事業はどうかといふに、国民の緊張、生活の改善、消費節約が異つて不景氣風は勢ひを増して居る。『本年新規に洋服は作らないやうにしよう』と役所がその筋になれば、先づ洋服屋はあがつたりだ、消費節約が不景氣を誘ふのは、濱口内閣當時のそれに見ても明らかなことである。殊にその打擊を蒙るものは中小商工業である。その間を緩和し、少くとも跛かつてゐる跛行を抑へつけるには不當の利益を收めて居る所謂擔税能力のあるところに、税金を課するより外ない。

〇……〇

全面的増税は、戰爭の見透しのつくまでこれを延期する。それはよいが跛行景氣を此の儘放任すべきものかどうか。調査會の内部に異論のあるのはそれが為めで跛行景氣から來る不公平を緩和するには更に臨時利得税を課すべしといふものもあれば此の際は、ただ公債の利子の程度の増税を起し、徐ろに全面的増税の議を進めて行くがよいと主張して居るものもある。中にはそんな姑息なことをしないで本年は一切増税の問題に觸れずに戰爭の終局と共に根本的の改正を行ふべしといふものもある。それが「本年は増税をやらない」と噂の出た根據である。増税問題は何處へ行く——それは財界の浮沈ばかりでなく、今後政治的動向にも關係を有するので、國民としては注目しなければならぬだらう

花蓮港にアルミと發電所

工場は初め四千噸、漸次擴張 工費は二千萬圓を要す

【花蓮港電話】日本アルミ會社吉田專務は核て計畫中の工場建設に就き十二日午後米花したが語る

工場建設第一の要素は花蓮港が西部に比し電力が非常に安い為である、工場は最初年產四千噸で內外のものを建設し將來擴張する考へである、發電所は花蓮港會社が曾府に許可を得て居るが事業は兩社が合同でやる事になつて居る、建設費は發電所及び工場を合せ二千万円位はかかるだらう之はアルミ會社が負擔する、工場建設に伴ひ勞力の不足が問題であるが、之は電氣會社に於て十分方法を講じてもらひたい、會社としては非常に急いで居るのでなるべく速かに敷地を決定したい考へである

第二回調査による新式製糖の產額豫想

一千六百八十八萬餘擔 第一回より四十五萬餘擔減

日本糖業聯合會臺灣支部發表、新式製糖九社の十二、三年期蔗糖第二回調査による蔗糖收穫調べによると原料作付面積十一万二千二百四十一甲

原料の 收穫見込高百三十一億一千八百十九万八百二十斤

甲當收量十一万八千三十二斤、採苗二千八百五十二万八千斤、他工場へ移出原料五億一千二百四十七万一千斤、他工場より搬入原料五億二千四百卅二万九千八百二十斤製原料百卅一億四千五百九十八百二十斤を平均歩留一割三分八厘五毛として

產糖一千六百八十八万七千六百五十七擔を得る見込である、之を第一回調査に比すれば

第一回 調査に比すれば作付面積に於て一千三百四十二甲減、收穫見込に於て一億一千三百八十五万八千三十二斤減を示し甲當收量は却つて四百二斤を増加して十二万四百四十斤に比し二千四百八斤少いが、會社中には昨昔に殆どことなるものもあるので實收は 何相當減力あるものと見て好い、之を一回調査と對照し各社別にすると

甲當收量見込

	一回調査	二回調査
臺灣	一三五、三二〇斤	一三四、七〇〇
明治	一三四、七二〇	一三三、五八〇
大日本	一三五、六二〇	一三五、一八〇
鹽水港	一二三、三一〇	一二四、六六〇
帝國	九三、一八〇	九五、九〇〇
昭和	九八、七二〇	九五、五二〇
新興	一〇六、八七〇	一〇七、四二九
臺東	九五、六六〇	九〇、五〇〇
源成	一三九、四〇〇	一三六、一八〇
計	一二七、六〇〇	一二八、〇三三

次に歩留見込と產糖見込を各社別に示すと

	歩留見込	產糖見込
臺灣	一三・四二%	四、五一〇、〇〇〇擔
明治	一三・〇〇	二、九七四、〇〇〇
大日本	一三・四一	四、三〇五、〇〇〇
鹽水港	一三・四二	二、六二五、〇〇〇
帝國	一五・〇〇	一、三二九、四〇〇
昭和	一三・九二	七六二、八九一
新興	一三・八〇	三三六、九二九
臺東	一五・五〇	一五九、七八〇
源成	一一・七〇	一〇五、三五四

季節風 に襲はれ蔗莖の

第一回豫想が概ね內輪に見積まれてあつたが、十月中旬に強烈な倒伏莖の折損等可なり被害があり且つ其後氣溫上昇、糖分の生成を妨げ登熟遲延の狀態となり製糖開始期前期より早いだけに平均步留の低下を免れぬものと見られて居り三、四の會社を除くの外は第一回に比し減收を發表するに至つたわけである、いま作付面積と原料收穫見込高を各社別に示すと

	作付面積	原料收穫見込高
	甲	千斤
臺灣	三六、七九〇・三一	三、三四一、五三二
明治	一八、六六一	二、二〇六、七〇〇
大日本	二七、七〇七	三、四六七、四〇〇
鹽水港	一八、四二一	二、二二三、四二一
帝國	九、七八〇	九六八、〇〇〇
昭和	六、〇八七	五八一、五八七
新興	一、七二五	一八五、一〇〇

在貨更に減少

臺灣倉庫會社の十月末現在保管貨物は五十七万九千百六十八個、價額四百三十二万六千二百十一円にして前月末に比し八万四千四百八十二個、六十八万二千五百九十四円を減じてゐる、主なる保管貨物は

	個數	價額(円)
臺灣米	八九、五五九	七二三、〇四二
豆類	一四	一、五五五
穀類及種子	二、五五二	四三、五五九
麥粉	一、二二七	一五六、〇〇四
精粉	四、八二七	一五、八八一
精糖	一九、五三八	一二八、三三三
分蜜糖	六、三五二	三三七、五二七
茶	八九六	九、二三六
罐詰食料品	八五三	二八、七〇〇
海產物	三四、四九一	四五五、四五八
綿織物	三二二	七、七二三
毛織物	一八二	一〇五、二五二
絹織物	六	三、八六六
麻	五、一六六	二九、三八六
紙	一、一〇〇	一六六、六六七
陶器	二、六六五	一七〇、六六五
過燐酸肥料	三、三五四	一九、一一〇
人造肥料	六、八〇五	八六〇、〇六五
鐵	二八、八〇九	七〇、六八〇
金物器具	二、三五五	九九二、〇〇〇
鑛物及土石	三二、一四八	三一、六九二
機械類	七、二一	六〇、五五六
木材	四、六二二	四五、八〇二
化粧品	一、八〇二	一〇、一二五
藥品類	三、七五四	四七、〇八〇
油脂及蠟燭	二二、〇五〇	四四四、三五九

海外經濟電報

外國金塊相場 十三日發十四日着

倫敦現物七磅〇〇志〇四片二分一

紐育現物 三五弗

全島魚市昨年の取扱高千五百萬圓

豊漁と魚價騰貴で好況

殖產局が全島調査にかかる昭和十一年中の本島魚市場に於ける鮮魚介類取扱高總數量に總價額は既報の如くであるが之を各州別に見れば左の如くである

一、各州別取扱高（單位數量は斤、但し高雄州尾數は前項が尾、後項が匹で、價額は円である）

州廳別	數量	價格
臺北	一八、二二〇、二二二	四、一九四、九二四
新竹	二、七五六、〇六八	四五九、一〇八
臺中	九、九四五、二六七	一、八九二、三九九
臺南	一九、二一〇、四三九	三、三四一、一八〇
高雄	八三六、六九五尾 / 二六、三三二、八八一	五、一六六、八八九 / 六、六九八
臺東	三一、四〇二	一二七、七〇九
花蓮港	六〇七、一一八	一〇四、〇七三
澎湖	九九五、一二八	二〇一、一九九
計	八三六、六九五尾 / 七六、六九九、五五五	一五、六六六、〇四一

一、一市場當りで數の最も多いのは前年同樣高雄市の一千一百廿九万六千百廿九斤にして次は臺北市の六百二十二万四千二百三十四斤で以下臺南、基隆、蘇澳、新竹、屏東、虎尾、嘉義、臺中、中州等の順位となる、金額の最高は前年同樣高雄市が首位で二百七十二万四千九十一円臺北の一百七十二万一千八百五十七円が之に次ぎ、臺南、蘇澳、基隆、新竹、羽東、臺中、宜蘭の順位である

一、魚價、本年平均斤當り魚價は十九錢九厘で前年に比し一錢の騰貴に當る魚市場別では最高は臺南州下七股の三十一錢三厘で前年の最高新化の三十三錢八厘に比し一錢九厘下落である、最低は高雄州下田州の七錢で前年の最低の沙山の七錢六厘に比し六厘の下落である

一、重要魚類の取扱高最高はフカで九百八万八千五百十九斤にしてグチの七百八十一万百二十一斤が之に次ぎ以下マグロ、カデキ、エソ、イワシ、ボラ、チダヒ、サバヒー、タチウヲ等の順位である

一、取扱金額最高はカヂキの百八十六万二千六百九十五円にしてマグロの百十九万六千四百十七円が之に次ぎ以下フカ、グチ、サバヒー、チダヒ、ニソ、マダヒ、イカ、サワラ等の順位である

家屋調査と申告者の心得

財務局より發表（上）

臺灣家屋調査施行に關する府令を發布し、家屋の調査を實施することは既に臺灣總督府令公布の際に財務局長より發表せられた通りであるが、本年十一月二日を以て施行規則の公布と同時に愈々調査に着手することとなつた、就ては調査の完璧を期する為家屋の所有者より家屋に關する申告書を提出して貰ふことになつてゐるのであるが、家屋所有者は須くこの趣旨を諒解し正確真實なる申告書を來る十二月十五日迄に間違なく家屋所在地の市街庄役場を經由し所轄税務出張所又は税務署に提出せられ度い、申告用紙は各市街庄役場より配付の筈である、而して申告書は家屋調査の為重要なる資料であり、且又税務上の參考ともなり、萬一申告書を提出しない者がある場合には、家屋の所有者又は占有者の調査上の便宜を供與せらるゝ様注意する

家屋申告要項

第一 申告義務者

（1）臺灣に在る家屋の所有者を以て申告義務者とす但し家屋の所有者が家屋の所在地を管轄する税務出張所管轄區域内に居住せざるときは代理人を定め代理人をして申告せしむること

（2）共有に係る家屋に付ては一人より申告したるときは他の共有者は申告するを要せず

第二 申告書及申請書の提出官署

申告書は家屋所在地の市役所又は街庄役場を經由して所轄税務官署（州、廳税務課又は税務出張所を指す以下同じ）に提出すること但し第一〇（特別家屋の申告）、第八（代理人の申告）の申告書及第九（異動を申告する家屋の申告）の申告書は直接所轄税務官署に提出すること

第三 家屋に關する申告書の種類

（1）普通家屋（特別家屋以外の家屋）に就て

（イ）家屋申告書 昭和十二年七月一日に於て家屋を所有する者の為すべき申告書

（ロ）家屋新築申告書 同七月二日以後に於て家屋を新築したる場合

（ハ）家屋異動申告書 同七月二日以後に於て既申告事項に異動ありたる場合

（ニ）家屋所有者變更申告書 同七月二日以後に於て家屋の所有者に異動ありたる場合

（ホ）特別家屋が普通家屋と為りたる家屋申告書 特別家屋が普通家屋と為りたる場合

（2）特別家屋（施行規則第十一條第一項に規定する家屋）に就て

（イ）特別家屋申告書 昭和十二年七月一日現在に於て特別家屋を所有する者の為すべき申告書

（ロ）特別家屋新築申告書 同七月二日以後に於て特別家屋を新築したる場合

（ハ）特別家屋所有者變更申告書 同七月二日以後に於て所有者に異動ありたる場合

（ニ）普通家屋が特別家屋と為りたる家屋申告書 普通家屋が特別家屋と為りたる場合

第四 申告の期限

（1）家屋申告書及特別家屋申告書は昭和十二年十二月十五日限り提出すること

（2）其の他の申告書は申告すべき事實發生の日より十五日内に提出すること但し昭和十二年七月二日以後同年十一月三十日迄の間に於て申告すべき事實の發生したるものに付ては同年十二月十五日迄に提出すること

第五 申告書記載事項

（1）申告書には

（イ）家屋申告書には昭和十二年七月一日現在に依り家屋の所在、種類、構造、床面積、建築年月日又は買入價格、價格算定其の他所有者の住所及氏名又は名稱を記載すること（家屋平面見取圖を添附）

（ロ）家屋新築申告書の記載事項は（イ）の家屋申告書の記載事項及新築年月日とす但し新築したる日の現在に依ること（家屋平面見取圖を添附）

（ハ）家屋異動申告書には（イ）の家屋申告書記載事項若は（ロ）の家屋新築申告書記載事項に記載したる事項（第七記載の事項を除く）及異動を生じたる年月日を異動を生じたる日の現在に依り記載すること（家屋平面見取圖を添附）

（ニ）家屋所有者變更申告書には家屋の所在、買入價格、新所有者の住所及氏名又は名稱並に前所有者の住所及氏名又は名稱（平面見取圖の添附）を要せず

（ホ）特別家屋が普通家屋と為りたる家屋申告書の記載事項は（イ）の家屋申告書の記載事項及普通家屋と為りたる年月日とす但し普通家屋と為りたる日の現在に依ること（家屋平面見取圖を添附）

（ヘ）特別家屋申告書には昭和十二年七月一日現在に依り家屋の所在、種類、構造、床面積、所有者の住所及氏名又は名稱並に其の家屋が特別家屋に該當する事由を記載すること（見取圖不要）

（ト）特別家屋新築申告書の記載事項は（ヘ）の特別家屋申告書の記載事項及新築年月日とす但し新築したる日の現在に依ること（見取圖不要）

（チ）特別家屋所有者變更申告書の記載事項は（ニ）の家屋所有者變更申告書に同じ（見取圖不要）

（リ）普通家屋が特別家屋と為りたる家屋申告書の記載事項は（ヘ）の特別家屋申告書の記載事項及特別家屋と為りたる年月日とす但し特別家屋と為りたる日の現在に依ること（見取圖不要）

（2）各申告書は家屋一箇毎に之を記載すること

家屋一箇とは用途及占有者の如何を問はず同一所有者に屬する家屋一棟を謂ひ附屬家屋あるときは之を合したるものを以て一箇とすること但し左の場合は此の限に在らず

（イ）一棟の家屋が數人の所有者に區分して所有せらるるときは各所有者に屬する區劃毎に之を一箇の家屋とすること（アパート、ビルディング、棟割長屋の如き）

（ロ）一棟の家屋が同一所有者に屬するも普通家屋と特別家屋とに區劃して使用せらるるときは各區劃毎に一箇の家屋とすること（一は住宅に他は國語講習所に提供してゐる場合の如き）

（ハ）棟續する數箇の家屋が同一所有者に屬し其の家屋が同一目的を以て相互に連絡して使用せらるる場合は之等數箇の家屋を合したるものを以て一箇の家屋とすること（臺市工場等に見る如き）

島内現株相場

	拂込	中値
臺銀	一〇〇・〇	八六・七
同新	七五・〇	六〇・八
勸銀	五〇・〇	八六・三
同新	一二・五	二四・九
三和銀	五〇・〇	五七・三
同新	二五・〇	二七・二
同二新	一二・五	一三・五
商工銀	五〇・〇	三五・〇
同新	三七・五	二五・〇
同二新	一二・五	九・六
彰化銀	五〇・〇	三六・〇
同新	二五・〇	一八・〇
華南銀	三七・五	一九・〇
貯蓄銀	一二・五	一四・二
大東信託	一二・五	八・五
興業信託	一二・五	四・五
臺灣土地建物	五〇・〇	三五・五
打狗土地	一五・〇	七五・〇
高雄地所	一二・五	一五・〇
臺灣電力	五〇・〇	四九・〇
同新株	三七・五	三六・五
合同電氣	[illegible]	二三・〇
臺灣製腦	[illegible]	六〇・〇
同新	[illegible]	一七・五
花蓮港電氣	[illegible]	二七・五
臺灣煉瓦所	[illegible]	一八・五
臺南製麻	[illegible]	一七・五
臺灣煉瓦	[illegible]	一七・五
同新株	[illegible]	六四・〇
臺南製瓦	[illegible]	一八・〇
臺灣鐵道	[illegible]	七・五
臺北鐵道	[illegible]	一八・〇
勸業無盡	[illegible]	七・五
高砂麥酒	[illegible]	一七・〇
臺灣倉庫	[illegible]	五四・八
南洋倉庫	[illegible]	二七・〇
新高軌道	[illegible]	三七・〇
臺灣製鹽	[illegible]	一七・〇
東光株式	[illegible]	三五・〇
臺灣製紙	[illegible]	一三・〇
臺灣水產	[illegible]	五五・〇
南日本製粉	[illegible]	八・〇
臺灣拓殖	[illegible]	五・七
日本拓殖	[illegible]	一〇・二
臺灣畜產	[illegible]	二五・五
臺灣肥料	五〇・〇	四〇・〇

	拂込	中値
基隆輕鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
臺中輕鐵	[illegible]	[illegible]
南部無盡	[illegible]	[illegible]
中央市場	[illegible]	[illegible]
臺灣紡織	[illegible]	[illegible]
東海自動車	[illegible]	[illegible]
昭和家畜	[illegible]	[illegible]
日本アルミ	[illegible]	[illegible]
南邦自動車	[illegible]	[illegible]
東邦人纖	[illegible]	[illegible]
日東化學工	[illegible]	[illegible]
鹽水港製糖	[illegible]	[illegible]
昭和製糖	[illegible]	[illegible]
沖繩製糖	[illegible]	[illegible]
臺東製糖	[illegible]	[illegible]
新興製糖	[illegible]	[illegible]
南洋興發	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
北海道製糖	[illegible]	[illegible]
同優先	[illegible]	[illegible]
帝糖新	[illegible]	[illegible]
滿洲製糖	[illegible]	[illegible]

「備考」臺灣拂物、日本アルミ、鹽糖、帝糖、南洋興發は配當落、增資子株落、昭和糖は配當落

外國銀塊相場

倫敦現物 一九片四分三

同先物 一九片一六分一一

紐育現物 休み

外國爲替相場

紐育來日爲替 二九弗〇八仙

同來英クロス 四弗九八仙四分三

倫敦來日爲替 一志〇二片

紐育株式

スチール株 六〇弗二分一

アナコンダ株 三三弗八分五

工業株三十種平均 一二三弗〇五仙

鐵道株二十種平均 三四弗一六仙

外國棉花相場

米棉（現物八仙）同平均五十五錢安

（先物八仙）一五印棉平均卅錢安

シカゴ小麥

十二月限 高値	九一仙四分三
同 安値	九一仙二分一
同	九〇仙八分七
五月限	九一仙
七月限	八六仙二分一

紐育砂糖

一月限	二仙三四
三月限	二仙三四
五月限	二仙二六
七月限	二仙二六

玖馬砂糖

實糖 二仙一六分七

倫敦砂糖

十二月限	六志〇一片四分一
三月限	六志〇二片四分三
五月限	六志〇三片二分一

過去四五年間に亙つて臺灣財界は好景氣が續いたお陰で本島財界には戰力がや砂糖景氣が謳はれてゐる、偶ま事變の為めに銃後の赤誠振りが充分發揮出來るのも島民の皇民化と共に財界に底力が培はれてゐるからである▲中にも製糖會社は利潤も多かつたしそれを以て固定資產の銷却を行ふと共に配當を抑制して能ふ限り之を蓄積しその一部を以て土地を買入れたのもあるが、滿洲製糖や台拓、臺大等の國策會社に投資し又傍系會社を設けて之に投資する等資金を意義ある方面に利用したことは賢明な事實である▲又糖業各社で飛行機や兵器を獻納し或時は巨額の國防獻金をなし慰兵金を寄附する等如才なく國家社會に奉仕し銃後の守りに於ても決してヒケを取らないところ流石は糖業者であると感ぜられるものがある、各州に於て率先的に国防獻金の醵出に赤誠を披瀝し知事以下各官吏の努力もあらうが、究ろ自發的に少しでも多く獻金しやうといふ氣分が歩ノ見える、高雄州の如きは五十万円の獻金目標に對して七十万円に達する豫想だろうで、如何に地方民が愛國心に燃えてゐるかが判る▲南部の名門として知られる陳家一族の中でも新興製糖の社長である陳啓貞君は州下の國防獻金へ君一人で二万円を獻納した、君は昨年にも一万円の寄附をして居る、君の赤心は誠に敬服に値する▲先代陳中和翁が七十八歲で逝去したのは昭和五年八月で新興製糖は當時の社長として開始から何でもモウ五千円を投ずるさうだ、新興製糖は先代陳中和翁が今日の新興製糖の社長とした、之で二十万擔を突破した、陳君は父の遺志を繼いで社長となり現勞力の結果昭和七、八年には早くも自營地は百万円に達した▲又會社の一部を以て同社が買入れた土地の長延引當時一百三十万円であつた借入金も年々償還して現在殘額は六十二万円に過ぎない、則に固定資產の銷却も年々四、五十万円宛やつて來たので社債々務二十三万六千擔となり今期の蔗糖見込も二十一万擔と新記錄を作らんとし今や三十万擔を目標として更に躍進を續くべく意氣旺盛たるものあり、陳啓貞社長の得意思ふべしである。

商業登記公告

（略）

●公示催告 東京市麹町區丸ノ内一丁目二番地ノ一 申立人 日本通運株式會社 …（以下略）

臺北地方法院

●公示催告（略）

大阪商船 出帆 / 近海郵船 出帆 / 阿波國共同汽船 出帆 / 大連汽船 出帆 …（以下略）

天幕 防空用 黒幕 見本進呈 貨車覆 臺北市本町 竹腰商店

くすりをあわせます 處方調劑 致します 臺北市榮町四丁目十一番地 信生堂藥局 電話三一八九番

齒科 台北市大和町一丁目八番地 本村齒科醫院 電話五三九二番

有價證券 三和證券 臺北市京町二丁目 電七〇九七番 臺中市榮町三丁目 電一三五番一七八番

皇軍慰問 協兵 酒煙草大賣出

皇軍慰問恤兵金として特等二萬圓、一等二萬四百圓宛を寄贈し、幸福ノ一半を寄贈願ふこととし全酒煙草業者一團となつて賣出しを行ひます、皆様の御協力御支援を仰ぎます

一、景品 總額金六萬四千貳百六拾八圓

特等 千圓 二〇本 二萬圓

一等 百圓 二〇四本 二萬四百圓

二等 拾圓 四〇八本 四千八拾圓

三等 壹圓 六、一二〇本 六千百二拾圓

四等 五拾錢 二七、三三六本 一萬三千六百六十八圓

特等、一等當籤者は必らず其の半額（特等五百圓、一等五拾圓）を當籤者の名儀を以て皇軍慰問恤兵金（陸軍恤兵部）に寄贈するものとす

二、實施區域 臺灣全島

三、賣出期間 昭和十二年十二月中

四、抽籤券 酒煙草御買上金壹圓毎に抽籤券一枚進呈

五、抽籤期日 昭和十三年一月八日

六、抽籤場所 臺北市公會堂

七、當籤發表 昭和十三年一月十五日（臺灣日日新報、臺灣新民報、臺南新報、臺灣日報紙上）

八、景品引換期間 同年一月末日

九、景品引換場所 抽籤券發行小賣店

台灣酒煙草賣出聯合會

ハート美人

砧

聞く里でも
浮世の憶を
知る限りは
これ　これ

姉妹品
シルバーハート
ホワイトハート
最寄の藥店で
お求め下さい

森永創製・慰問袋にも
森永　ゆであづき

特許 商標
（滿洲國特許意匠商標出願取扱）
中松特許法律事務所
辨理士 中松潤之助
辨理士 須藤 忠
辨理士 伊藤堅太郎
辨理士 山中 政吉
辨理士 八島佐太郎
辨理士 中村 公平
辨理士 小野 良三
所長 辨理士 中松 盛雄
東京市丸ノ内 三菱廿一號館 電話丸ノ内(23)一〇一二・一九〇〇
大阪出張所 所長辨理士 中村敏雄 大阪市今橋 愛國ビル内 電話北濱一八二七
乞御問合御紹介可仕候

喘息エキス
ぜんそく・百日ぜき・たん咳・其他咳嗽一般に
せきを止め、痰を切り、呼吸を楽にし、安眠を得せしむ
副作用なく、服みよく、少量でグズく効く評判の家庭藥
試用分五十錢　一圓三十錢　二圓五十錢　四圓八十錢　七圓
各藥店にあり
發賣 …

ダイヤモンド ニュース
寒さの肌がアレたらお休み前にレートクレームを手にとってお塗り下さい。不思議な程ア…なおります。

アレ知らぬ柔肌は微笑む！

朝 な夕なに、鏡の中の潑剌明朗な顏に見入る時程若き人々を樂しませるものはない筈です。若しも小皺やアレ肌を發見したなら、どんな方でも一ペンで憂鬱になつてしまいませう。肌アレの目立つ此の頃は誰方もお肌のお手入れには御苦心なさいます。そしてクリームに就てもお考へになる筈です。

扨 而そのクリームですが……一體どれが良いのかと選擇にお迷ひの方があるかと思ふと、クリームでさいあればどれでも同じと思つておられる方もありますが、何も大變な思ひ違ひです。粗悪のものや濃度の低い一般のクリームでは効果がありません。どんな寒さにもアレ知らぬ魅力の若肌をとお望みなら、必ず乳化完全で濃度の高いクリームをお選び下さい。

こ の點レートクレーム程乳化完全で濃度の高いクレームはありません。有効成分はお肌に溶け込んで新陳代謝を旺んにし、榮養効果を昂め、シツトリお肌を潤ほしてくれます。外氣の刺戟を完全に防いでくれるので、どんな寒氣にもアレ知らぬ潑剌明朗の若肌が保てます。

アレ止めに濃度の高い
レートクレーム